

直轄工事における総合評価落札方式の実施状況 【平成27年度】



国土交通省 国土技術政策総合研究所

~ National Institute for Land and Infrastructure Management
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism ~

総括

平成17年に施工された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を受けて総合評価落札方式の導入を推進した結果、国土交通省の直轄工事では平成19年度以降ほぼすべての工事において総合評価落札方式を適用することにより、品質確保を図ってきた。

適用の拡大を進める一方、受発注者の負担増大等の課題を解消するため、直轄工事では平成25年度から、施工能力の評価と技術提案の評価に二極化する改善策を講じ、定着しつつあるが、平成27年度の実施状況を見ると、技術提案評価型(A型)の適用件数が少ないことや「WTO技術提案評価型(S型)」の技術評価点の1位同点者数が他のタイプと比べて多い傾向が見られる。

1. 経年変化等の状況

(1)実施状況 (P1, 2)

- ・平成27年度において、総合評価落札方式の適用率は件数ベースで99.6%、金額ベースで99.8%となり、ほぼ100%の適用状況となっている。
- ・タイプ別では施工能力評価型(Ⅱ型)が最も多く、件数は4,869件(全体の約7割)、金額は4,911億円(全体の約4割)である。
- ・技術提案(施工計画)を求める技術提案評価型・施工能力評価型(Ⅰ型)の合計件数シェアは約3割、合計金額シェアは約6割である。

(2)技術提案評価型(A型)の実施状況 (P3)

- ・平成27年度は、2件(トンネル工事、JCTランプ工事)の工事で技術提案評価型(AⅡ型)が適用されている。

(3)1工事あたりの競争参加者数 (P4)

- ・WTO技術提案評価型(S型)における「1工事あたりの競争参加者数」は、平成20年度の10.8者から平成22年度には20.9者と倍増し、その後は減少傾向にあったが平成27年度は再び増加に転じた。
- また、「1工事あたりの競争参加者数」は、「工事件数」の増減に連動して増減する傾向が見受けられる。

(4)～(5)入札の状況 (P5, 6)

- ・「落札率」は、平成17年度以降上昇しているが、「落札率-調査基準価格率」は、平成18年度から平成23年度にかけて縮小傾向が続き、その後は同等の水準で推移している。
- ・WTO技術提案評価型(S型)における「落札率-調査基準価格率」は、他のタイプよりも小さく、近年は1～2%程度で推移している。
- ・「入札率」の分布は、調査基準価格付近に集中する傾向が続いている。また、「平均入札率」は平成24年度から緩やかな上昇傾向にあったが、平成27年度には再び低下に転じた。

(6)～(7)技術評価の状況 (P7, 8)

- ・WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点一位同点者数」は、平成22年度までにほぼ倍増し、その後は概ね1.8～2.2者の間で推移している。
- ・「技術評価点一位と二位の得点差」は、施工能力評価型・技術提案評価型(S型)において、経年でほぼ横這い傾向にある。
- また、WTO技術提案評価型(S型)は、平成24年度以降減少傾向にあったが、平成27年度は再び増加に転じた。
- ・「技術評価点の得点率(各社の技術評価点÷技術評価点の満点)」の分布は、顕著な経年変化は見受けられない。「平均得点率」は、平成24年度以降減少傾向にあったが平成27年度に増加に転じている。

(8)～(10)落札者に占める技術評価点の最高得点者及び最低価格者の割合(P9, 10, 11)

- ・「落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合」は、増加傾向にある。
- ・「落札者に占める最低価格者の割合」は、平成23年度までは減少傾向にあり、平成25年度に増加したものの再び減少に転じている。
- ・施工能力評価型における「落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合」は、平成25年度以降80%以上で推移している。また、「落札者に占める最低価格者の割合」は、平成27年度に67%に低下している。
- ・WTO技術提案評価型(S型)における「落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合」は、平成23年度以降85%以上で推移している。また、「落札者に占める最低価格者の割合」は、平成25年度に48%に増加したが、平成26年度以降は40%程度で推移している。

(11)～(12)「入札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」(P12, 13)

- ・落札者の「落札率と調査基準価格率の差」と「技術評価点の得点率」は、ともに顕著な経年変化は生じていない。
- ・入札参加者の「入札率と調査基準価格率の差」と「技術評価点の得点率」は、ともに顕著な経年変化は生じていない。

(13)落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差(P14)

- ・「落札者と次点者の技術評価点の得点率の差」は、顕著な経年変化は生じていない。
- ・「落札者と次点者の入札率の差」は、入札率の差が大きい工事(3%以上)の割合が経年で減少傾向にある。

2. 契約タイプ別適用状況と競争参加状況(平成27年度)

(1)契約タイプ別の適用状況(P15)

- ・鋼橋上部とPC以外の工事種別は、施工能力評価型の適用が9割を超えている。
- ・鋼橋上部とPCにおける施工能力評価型の適用は、5～7割程度であり、残り3～5割程度の工事で技術提案評価型を適用している。

(2)競争参加の状況(P16)

- ・「競争参加者数」は、一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCが多く、維持修繕、通信設備、機械設備は少ない。
- ・総合評価のタイプ別では、WTO技術提案評価型(S型)の「競争参加者数」は、平均16.9者と他のタイプに比べて多い。

3. 入札の状況(平成27年度)

(1)入札率の分布(P17, 18)

①工事種別別

- ・維持修繕、機械設備、電気設備における「入札率」の分布は、調査基準価格付近と予定価格付近に2つのピークをもつ形状となっているが、一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCでは調査基準価格付近に分布が集中する傾向が見られる。

②契約タイプ別

- ・施工能力評価型における「入札率」の分布は、調査基準価格付近と予定価格付近に2つのピークをもつ形状となっているが、技術提案評価型では調査基準価格付近に分布が集中する傾向が見られる。

(2)「入札率-調査基準価格率」の分布(P19, 20)

①工事種別別

- ・一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「入札率と調査基準価格率の差」の分布は、他の工事種別よりも0%に集中する傾向が顕著である。

②契約タイプ別

- ・技術提案評価型(A型除く)における「入札率と調査基準価格率の差」の分布は、施工能力評価型よりも0%に集中する傾向が顕著である。
- ・価格競争における「入札率と調査基準価格率の差」の分布は、施工体制確認型が適用されない影響を受け、0%未満の落札も発生している。

4. 技術評価の状況(平成27年度)

(1) 得点率の分布(P21, 22)

① 工事種別別

・一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点の得点率」の平均は、他の工事種別よりも高い。

② 総合評価のタイプ別

・技術提案評価型における「技術評価点の得点率」の平均は、施工能力評価型よりも落札者と非落札者の点差が大きい。

(2) 1位同点者数(P23, 24)

① 工事種別別

・鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位同点者数」は、他の工事種別よりも2者以上の割合が多くなっている。更に鋼橋上部は、4者以上の割合も多い。

② 総合評価のタイプ別

・WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点1位同点者数」は、他のタイプよりも2者以上の割合が多くなっている。

(3) 1位と2位の得点率の差の分布(P25, 26)

① 工事種別別

・一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位と2位の得点率の差」は、他の工事種別よりも小さい。

② 総合評価のタイプ別

・WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点1位と2位の得点率の差」は、他のタイプよりも小さい。

5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成27年度)

(1) 落札者の内訳(P27, 28)

① 工事種別別

・維持修繕、機械設備、電気設備における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の企業が落札する割合が最も高いが、AS舗装、鋼橋上部、PCでは、最高得点かつ最低価格以外の企業が落札する割合が高い。

② 総合評価のタイプ別

・施工能力評価型、技術提案評価型(S型)における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の企業が落札する割合が最も高いが、WTO技術提案評価型(S型)では、最高得点かつ最低価格以外の企業が落札する割合が高い傾向にある。

(2) 落札者の「落札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」(P29, 30)

① 工事種別別

・一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「落札率-調査基準価格率」は、他の工事種別よりも0%以上5%未満に分布が集中する傾向にある。

② 総合評価のタイプ別

・WTO技術提案評価型(S型)における「落札率-調査基準価格率」は、他のタイプよりも0%以上5%未満に分布が集中する傾向にある。更に、「技術評価点の得点率」は、高得点帯に分布が集中する傾向にある。

(3) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差(P31, 32)

① 工事種別別

・鋼橋上部、PCにおける「入札率の差」は、±1%に集中する度合いが顕著である。また、「技術評価点の得点率の差」も-1%~3%に集中しており、価格と技術の両面で差が付きにくくなっている。

② 総合評価のタイプ別

・WTO技術提案評価型(S型)における「入札率の差」は、±1%に集中する度合いが顕著である。また、「技術評価点の得点率の差」も他のタイプよりも-1%~3%に集中しており、価格と技術の両面で差が付きにくくなっている。

6. 総合評価の導入と工事成績評定点

(1) 総合評価落札方式の実施率と工事成績評定点の変化(P33)

・「工事成績」は、価格競争よりも施工能力評価型、施工能力評価型よりも技術提案評価型が高い。

(2) 契約タイプと工事成績評定点(P34)

・上位タイプにおける「工事成績」は、工事成績80点以上の割合が多く、平均も高い傾向が見受けられる。

(3) 工事成績評定点と技術評価点得点率(P35)

・「工事成績」は、技術評価点の得点率が高い工事ほど80点以上の高評点を得る割合が多く、工事成績の平均が高い傾向が見られる。

1. 経年変化等の状況	1
(1)実施状況	1
(2)技術提案評価型(A型)の実施状況.....	3
(3)1工事あたりの競争参加者数	4
(4)入札の状況(「落札率」と「落札率-調査基準価格率」)	5
(5)入札の状況(入札率の分布)	6
(6)技術評価の状況(入札参加者の技術評価点)	7
(7)技術評価の状況(入札参加者の技術評価点得点率の分布)	8
(8)落札者に占める技術評価点の最高得点者及び最低価格者の割合	9
(9)落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合[施工能力評価型]	10
(10)落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合[WTO技術提案評価型(S型)].....	11
(11)落札者の「落札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」	12
(12)入札参加者の「入札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」	13
(13)落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差	14
2. 契約タイプ別適用状況と競争参加状況(平成27年度)	15
(1)契約タイプ別の適用状況	15
(2)競争参加の状況	16
3. 入札の状況(平成27年度)	17
(1)入札率の分布	17
(2)「入札率-調査基準価格率」の分布	19
4. 技術評価の状況(平成27年度)	21
(1)得点率の分布	21
(2)1位同点者数	23
(3)1位と2位の得点率の差の分布	25
5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成27年度)	27
(1)落札者の内訳	27
(2)落札者の「落札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」	29
(3)落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差	31
6. 総合評価の導入と工事成績評定点	33
(1)総合評価落札方式の実施率と工事成績評定点の変化	33
(2)契約タイプと工事成績評定点	34
(3)工事成績評定点と技術評価点得点率	35

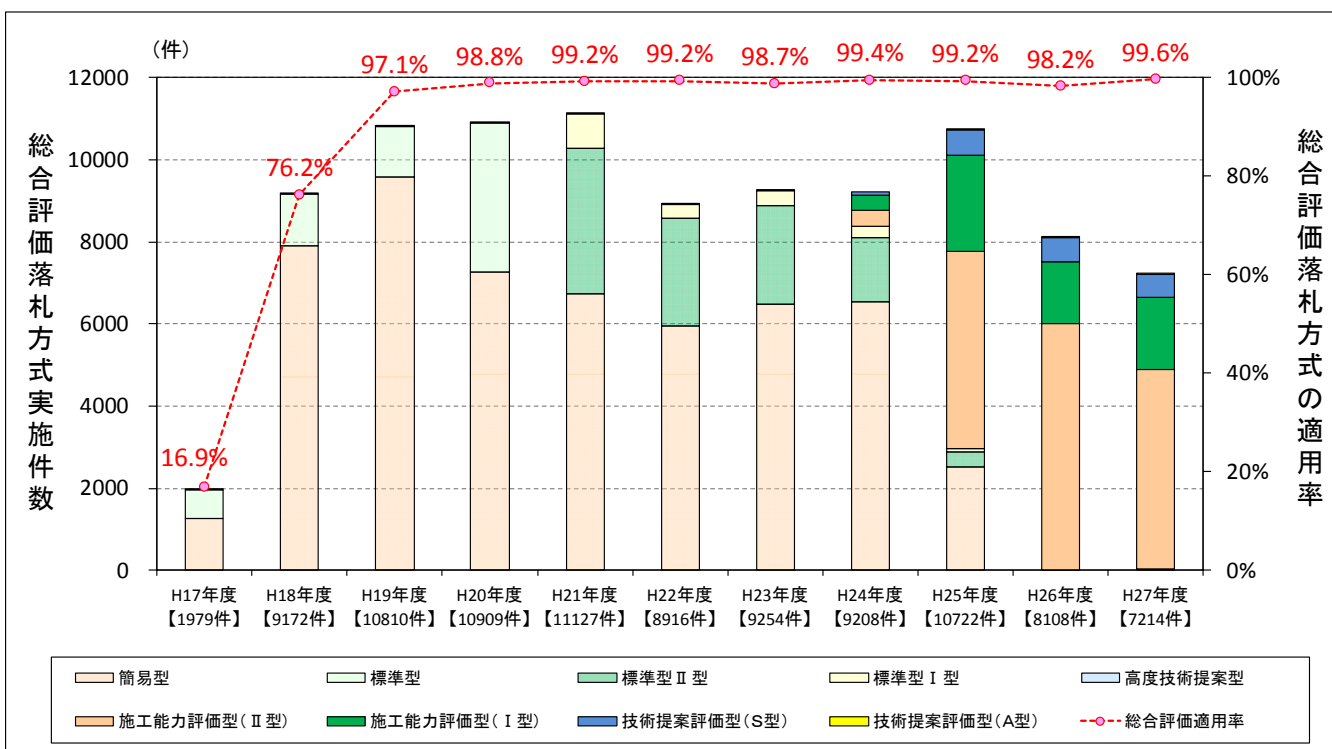
1. 経年変化等の状況

(1) 実施状況

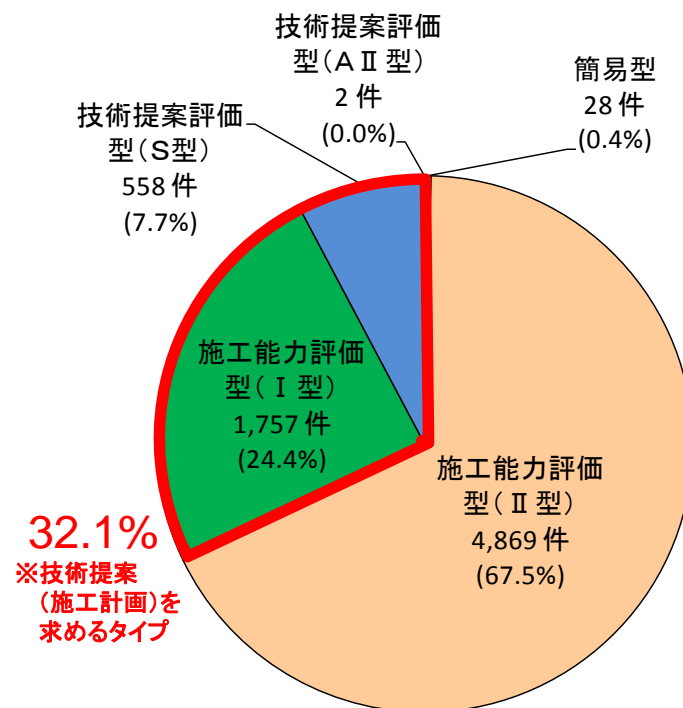
① 実施件数

- 平成27年度において、総合評価落札方式の適用率は件数ベースで99.6%となり、ほぼ100%の適用状況となっている。
- 平成27年度において、タイプ別で最も多いのは施工能力評価型(Ⅱ型)の4,869件(総合評価落札方式適用工事全体に占める割合67.5%)である。
- 技術提案(施工計画)を求める技術提案評価型・施工能力評価型(Ⅰ型)の合計件数シェアは32.1%である。

〔実施件数(平成17年度～平成27年度)〕



〔件数シェア(平成27年度)〕



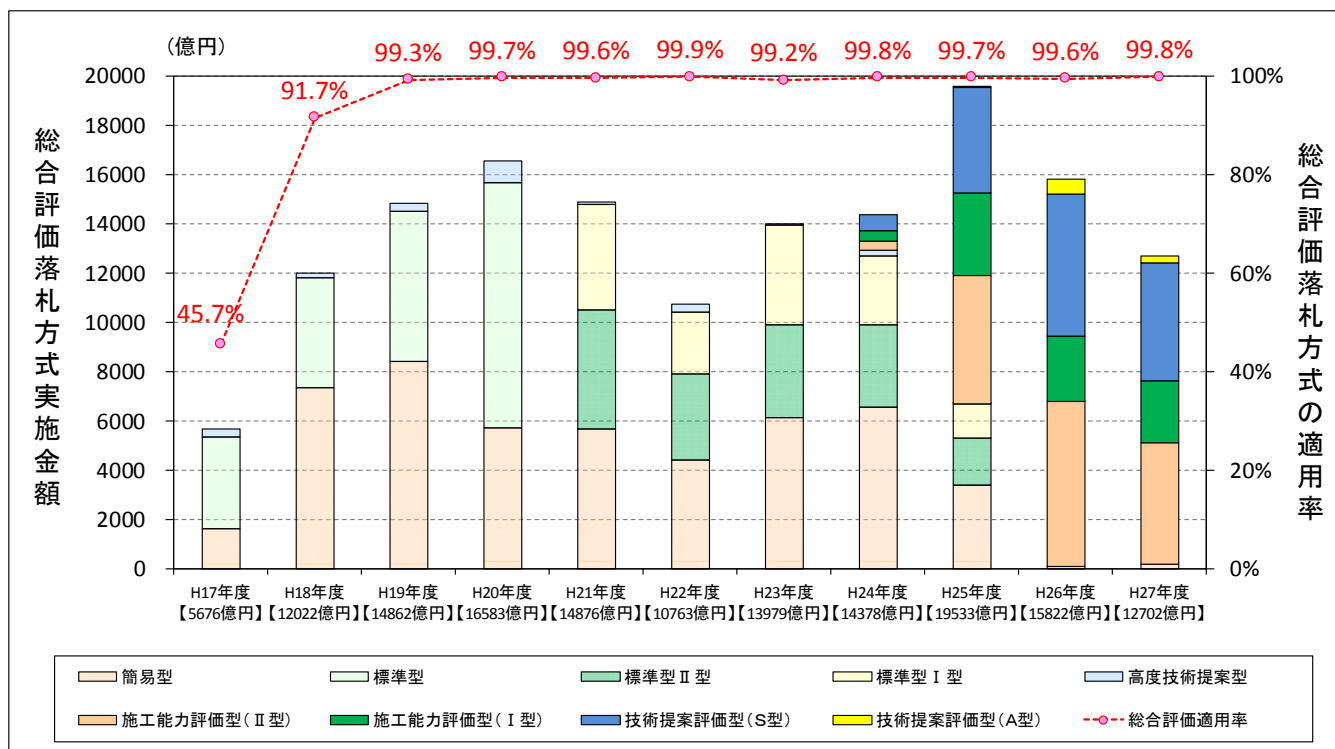
注1) 8地方整備局の工事を対象 (港湾・空港関係工事を含む)。
 注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事件数に対する総合評価落札方式実施件数の割合。

1. 経年変化等の状況

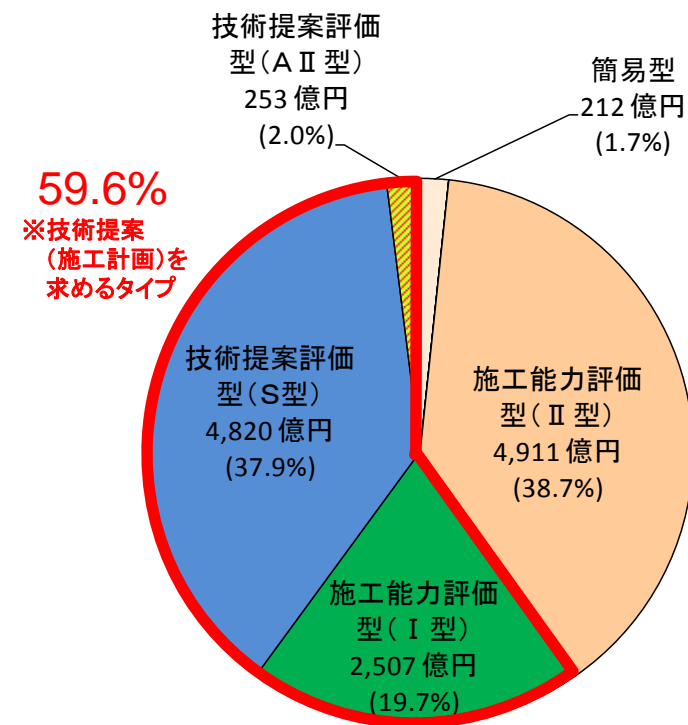
②実施金額（契約額）

- 平成27年度において、総合評価落札方式の適用率は金額ベースで99.8%となり、ほぼ100%の適用状況となっている。
- 平成27年度において、タイプ別で最も多いのは施工能力評価型（Ⅱ型）の4,911億円（総合評価落札方式適用工事全体に占める割合38.7%）である。
- 技術提案（施工計画）を求める技術提案評価型・施工能力評価型（Ⅰ型）の合計金額シェアは59.6%である。

〔実施金額(平成17年度～平成27年度)〕



〔金額シェア(平成27年度)〕



注1) 8地方整備局の工事を対象（港湾・空港関係工事を含む）。

注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事金額に対する総合評価落札方式実施金額の割合。

注3) 実施金額は契約額(税抜)

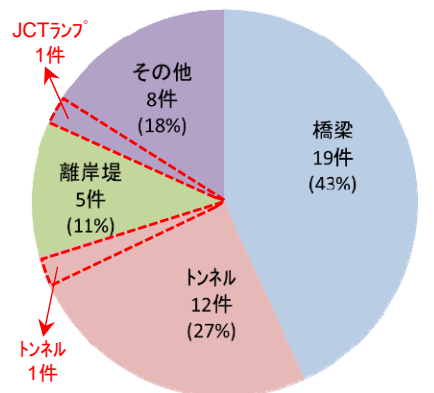
1. 経年変化等の状況

(2) 技術提案評価型 (A型) の実施状況

- 平成27年度は、2件の工事で技術提案評価型(AⅡ型)が適用されている。
- 技術提案評価型(AⅡ型)の適用は、橋梁、トンネルで全体の70%(件数)、60%(金額)となっている。
- 技術提案評価型(AⅢ型)の適用は、橋梁、トンネル、ダムで全体の68%(件数)、88%(金額)となっている。

〔技術提案評価型(AⅡ型)〕

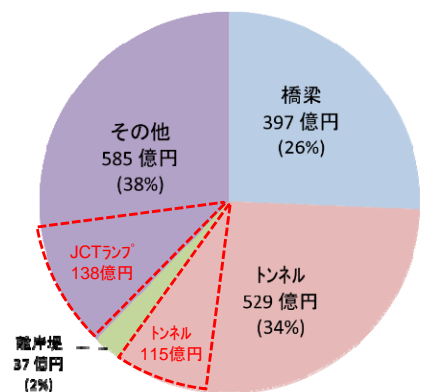
【件数】



【工事区分】

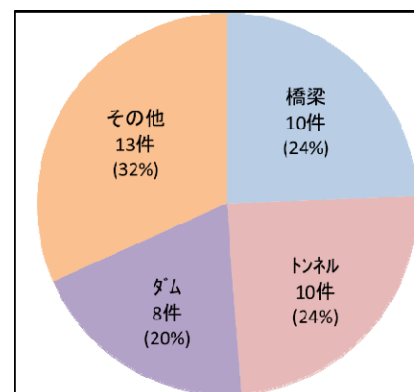
区分	件数	金額
橋梁	19件	397億円
トンネル	12件	529億円
離岸堤	5件	37億円
取水設備	1件	30億円
樋管改築	1件	6億円
建築	1件	6億円
地盤改良	1件	4億円
函渠	1件	122億円
砂防堰堤	1件	1億円
JCTランプ	2件	416億円
計	44件	1,548億円

【金額(契約額)】



〔技術提案評価型(AⅢ型)〕

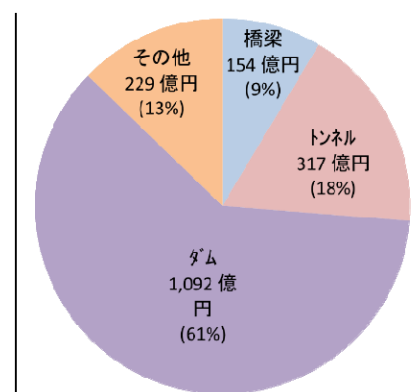
【件数】



【工事区分】

区分	件数	金額
橋梁	10件	154億円
トンネル	10件	317億円
ダム	8件	1,092億円
可動堰改築	2件	98億円
計測設備	2件	9億円
舗装	2件	4億円
建築	1件	40億円
U型擁壁	1件	32億円
箱型函渠	1件	14億円
土壌汚染処理	1件	15億円
高水敷造成	1件	11億円
構造物撤去	1件	2億円
排水機場	1件	4億円
計	41件	1,792億円

【金額(契約額)】



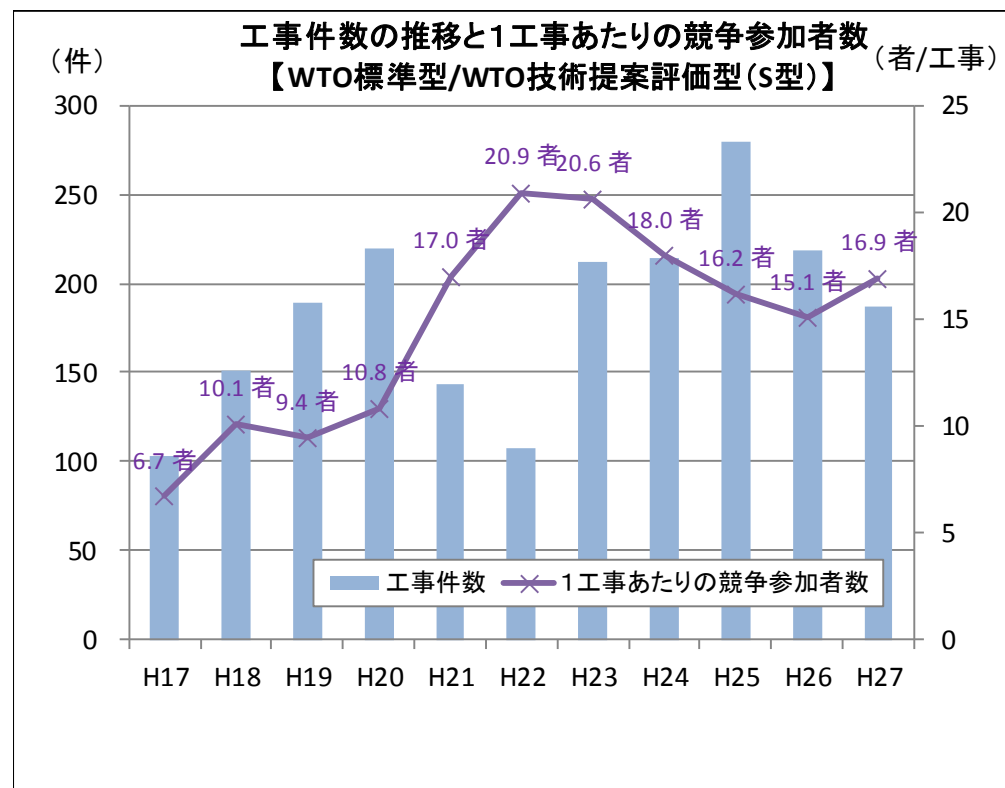
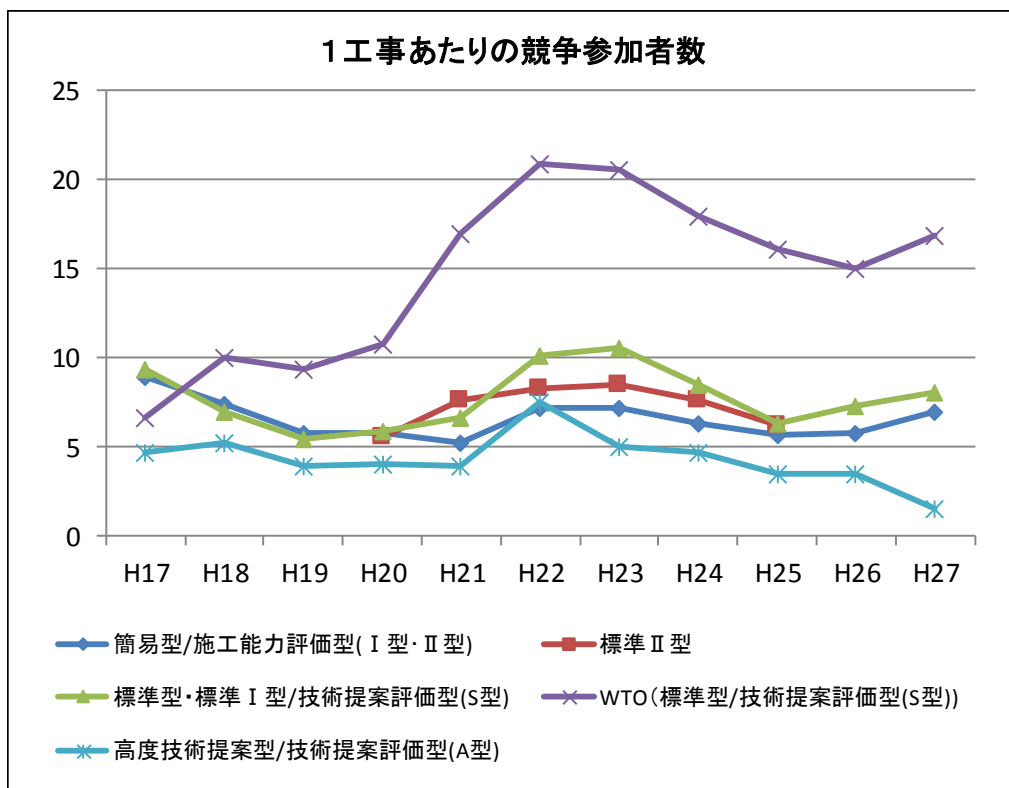
...平成27年度案件

注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象。
・港湾・空港関係工事
注2) 金額は契約額(税抜)

1. 経年変化等の状況

(3) 1工事あたりの競争参加者数

- WTO技術提案評価型(S型)における「1工事あたりの競争参加者数」は、平成20年度の10.8者から平成22年度には20.9者と倍増し、その後は減少傾向にあったが平成27年度は再び増加に転じた。また、「1工事あたりの競争参加者数」は、「工事件数」の増減に連動して増減する傾向が見受けられる。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象。

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・加算方式の試行工事(平成19年度)

注2) 競争参加者数は、平成22年度以前を7地方整備局で集計。

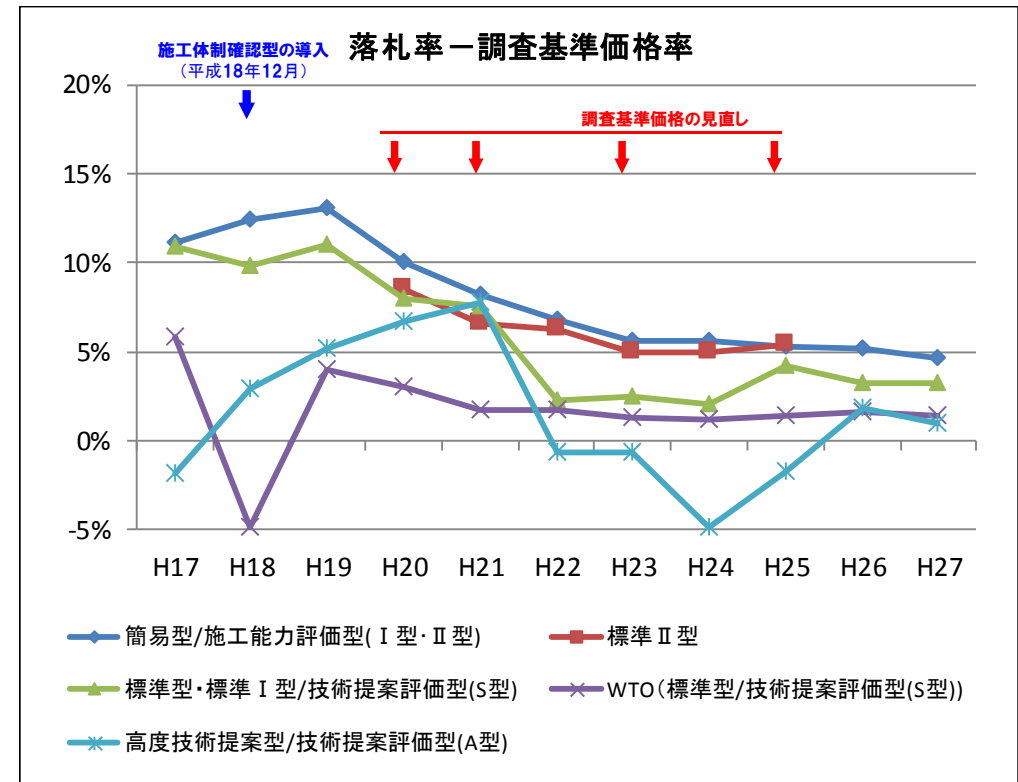
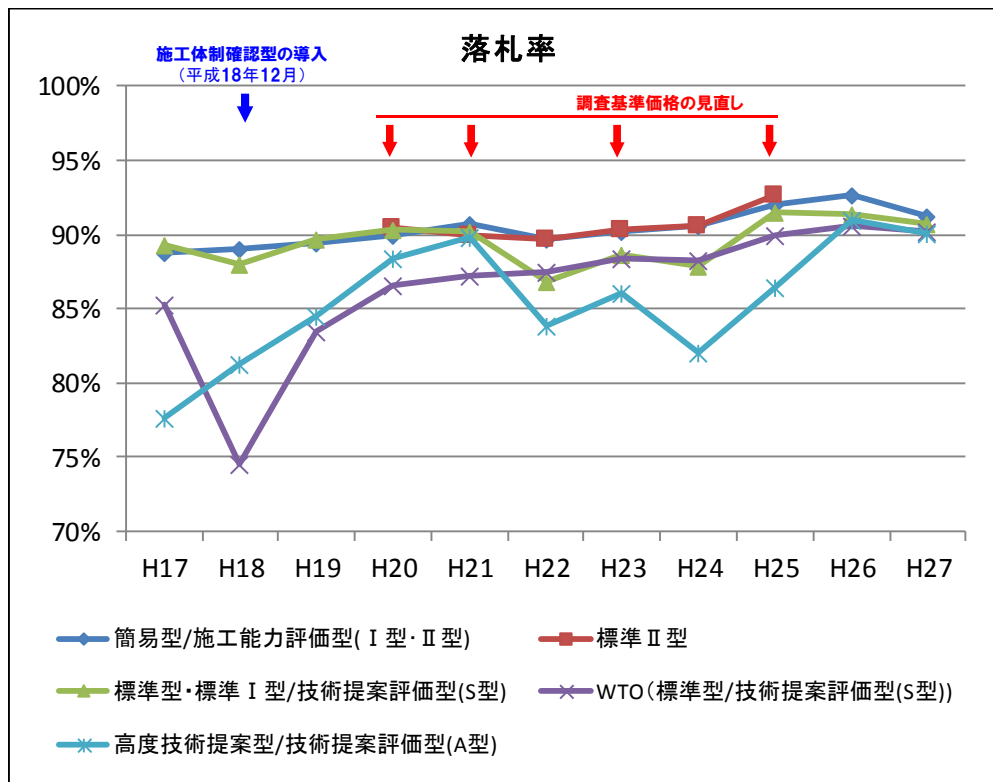
注3) 競争参加者数には、無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。

注4) 「WTO(標準型)」は、標準I型、標準II型のうちWTO対象額以上の工事、「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうちWTO対象額以上の工事を示す。(以後、同様)

1. 経年変化等の状況

(4) 入札の状況 (「落札率」と「落札率-調査基準価格率」)

- 「落札率」は、平成17年度以降上昇しているが、「落札率-調査基準価格率」は、平成18年度から平成23年度にかけて縮小傾向が続き、その後は同等の水準で推移している。
- WTO技術提案評価型(S型)における「落札率-調査基準価格率」は、他のタイプよりも小さく、近年は1~2%程度で推移している。



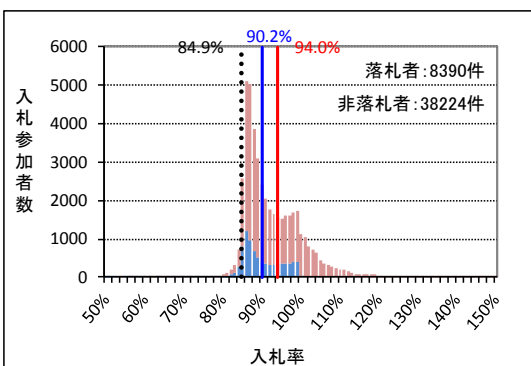
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・加算方式の試行工事(平成19年度)
 ・調査基準価格が設定されていない工事(「落札率-調査基準価格率」の集計)

1. 経年変化等の状況

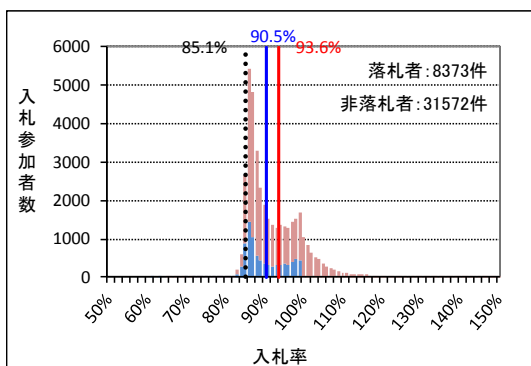
(5) 入札の状況 (入札率の分布)

■ 「入札率」の分布は、調査基準価格付近に集中する傾向が続いる。また、「平均入札率」は平成24年度から緩やかな上昇傾向にあったが、平成27年度には再び低下に転じた。

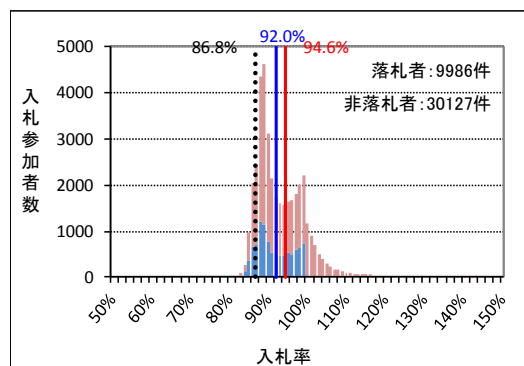
【平成23年度】



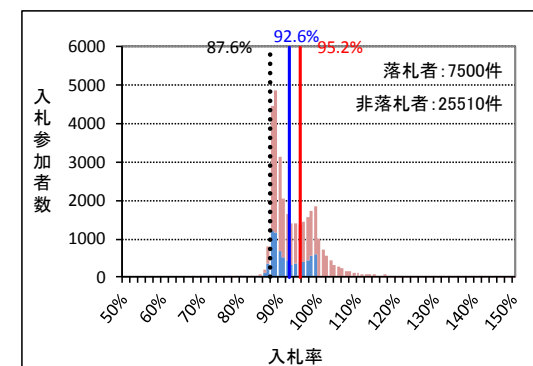
【平成24年度】



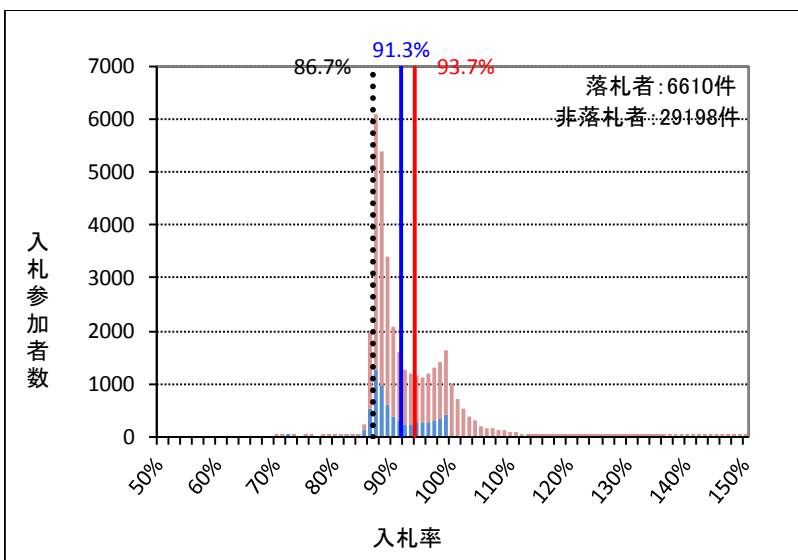
【平成25年度】



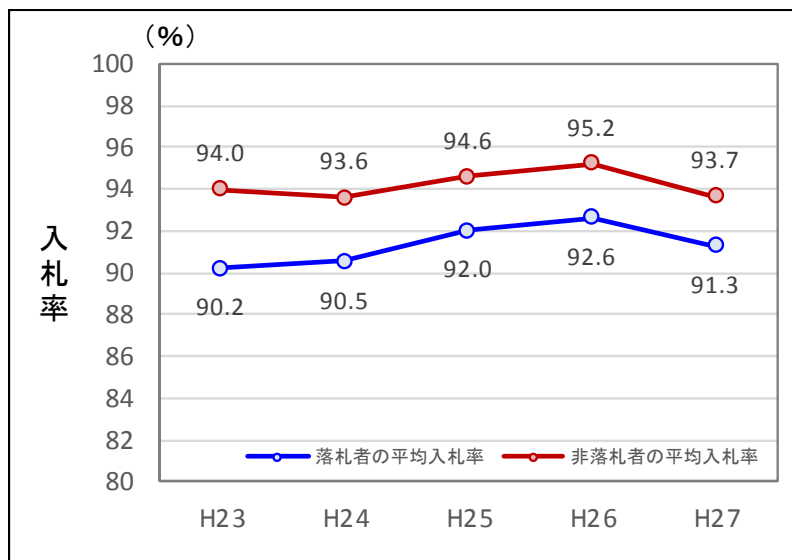
【平成26年度】



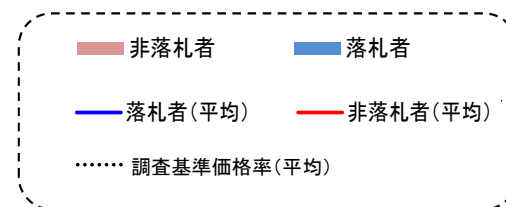
【平成27年度】



【平均入札率の経年変化】



〔凡例〕



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

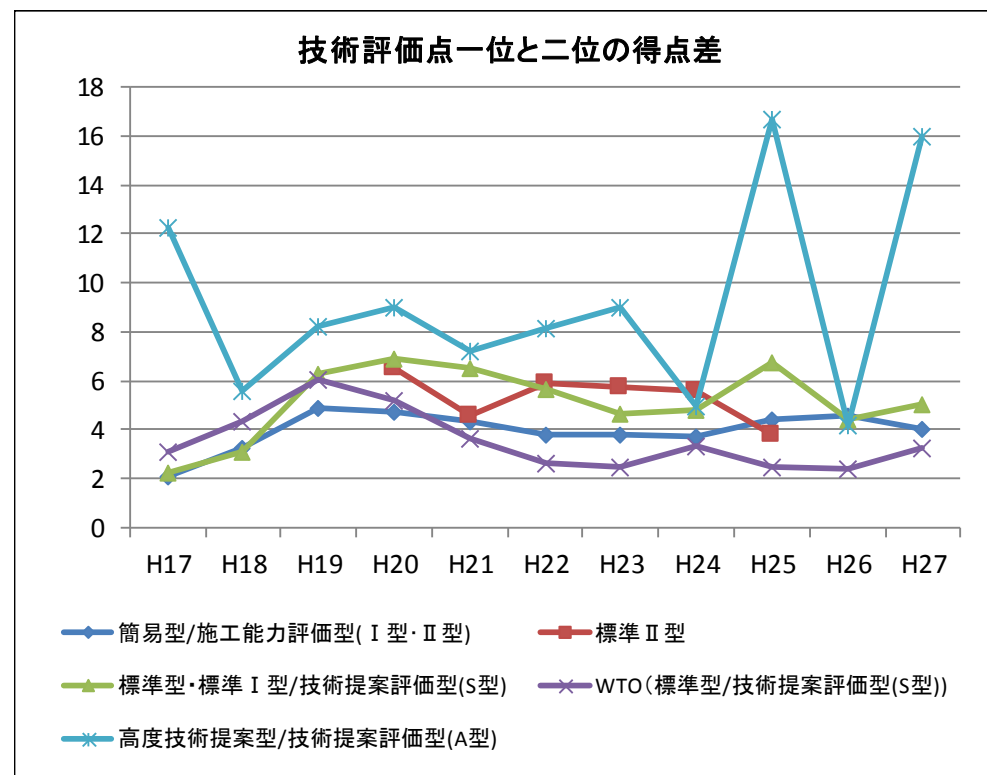
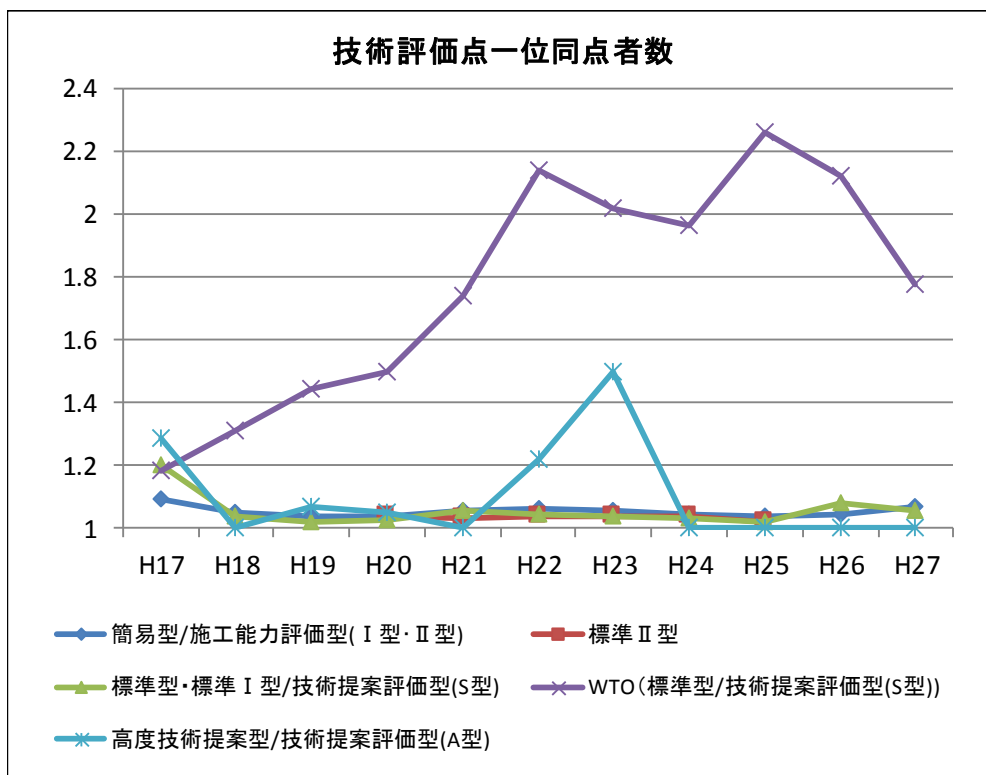
- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・調査基準価格が設定されていない工事

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

1. 経年変化等の状況

(6) 技術評価の状況（入札参加者の技術評価点）

- WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点一位同点者数」は、平成22年度までにほぼ倍増し、その後は概ね1.8~2.2者の間で推移している。
- 「技術評価点一位と二位の得点差」は、施工能力評価型・技術提案評価型(S型)において、経年でほぼ横這い傾向にある。また、WTO技術提案評価型(S型)は、平成24年度以降減少傾向にあったが、平成27年度は再び増加に転じた。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・加算方式の試行工事(平成19年度)
- ・予定価格内1者の工事(「技術評価点1位と2位の得点差」の集計)

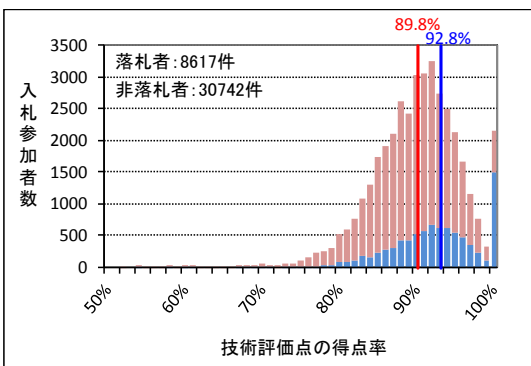
注2) 技術評価点の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

1. 経年変化等の状況

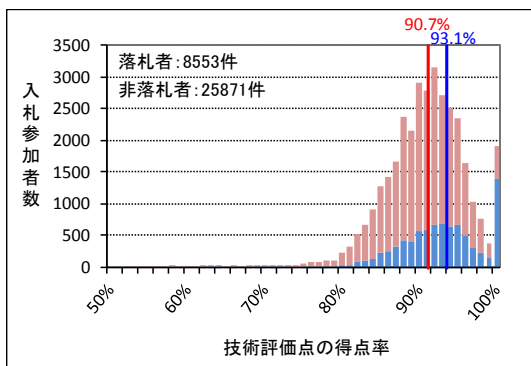
(7) 技術評価の状況（入札参加者の技術評価点得点率の分布）

- 「技術評価点の得点率(各社の技術評価点÷技術評価点の満点)」の分布は、顕著な経年変化は見受けられない。
- 「平均得点率」は、平成24年度以降減少傾向にあったが平成27年度に増加に転じている。

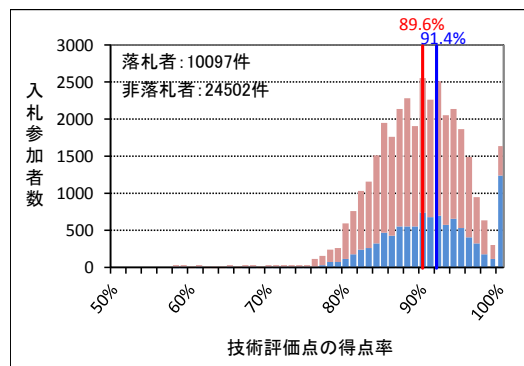
【平成23年度】



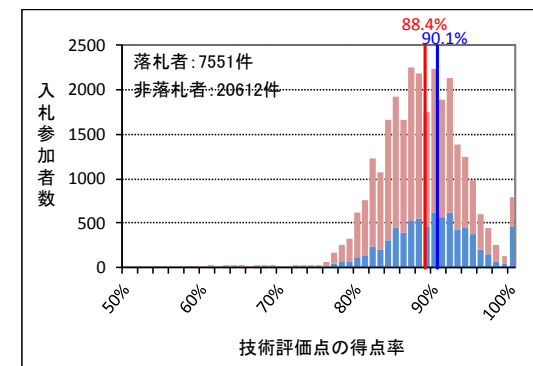
【平成24年度】



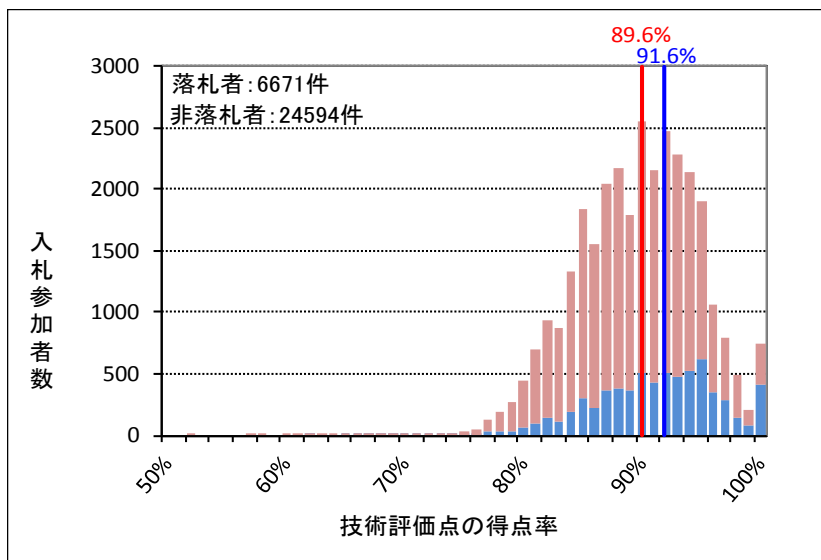
【平成25年度】



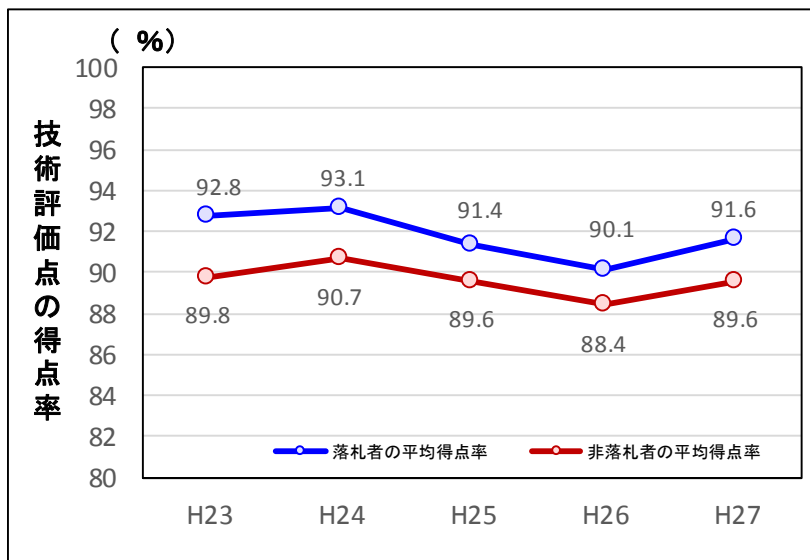
【平成26年度】



【平成27年度】



【平均得点率の経年変化】



〔凡例〕

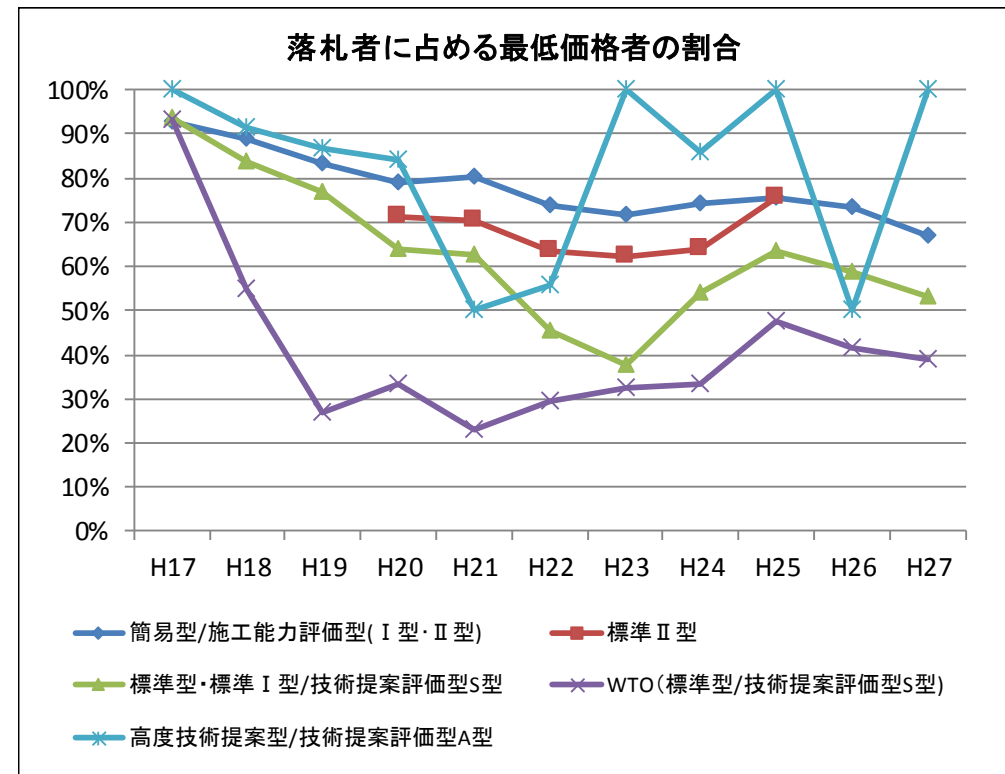
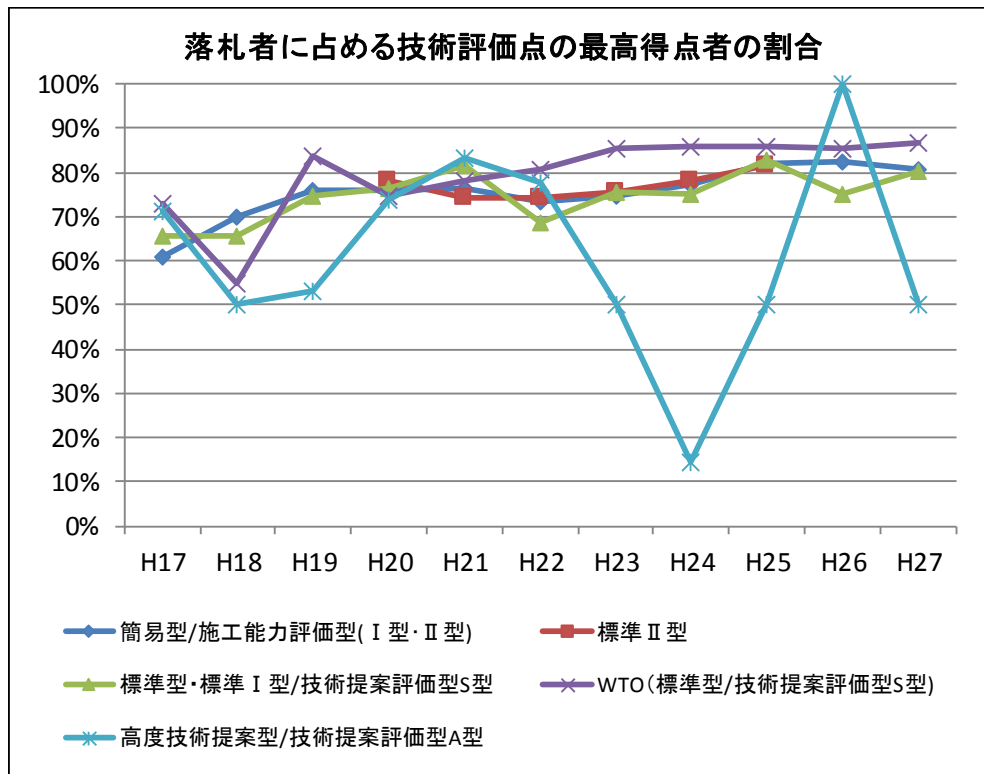
- 非落札者
- 落札者
- 落札者(平均)
- 非落札者(平均)

注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。

1. 経年変化等の状況

(8) 落札者に占める技術評価点の最高得点者及び最低価格者の割合

- 「落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合」は、増加傾向にある。
- 「落札者に占める最低価格者の割合」は、平成23年度までは減少傾向にあり、平成25年度に増加したものの再び減少に転じている。



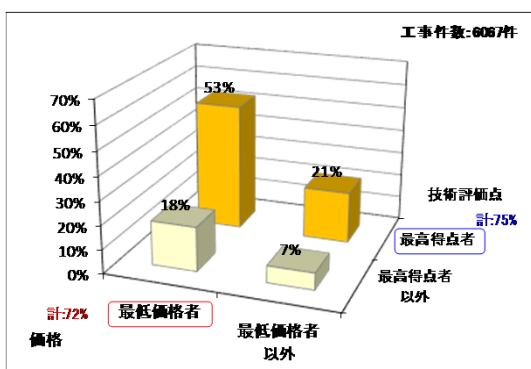
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・加算方式の試行工事(平成19年度)

1. 経年変化等の状況

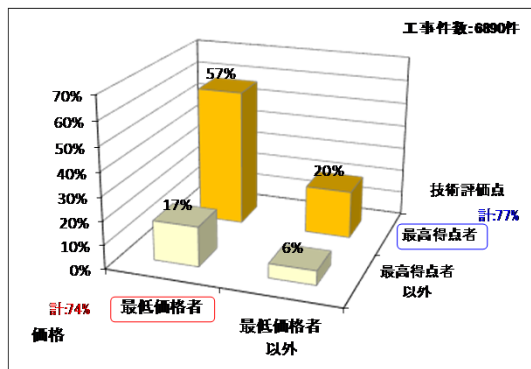
(9) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合〔施工能力評価型〕

■ 施工能力評価型における「落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合」は、平成25年度以降80%以上で推移している。また、「落札者に占める最低価格者の割合」は、平成27年度に67%に低下している。

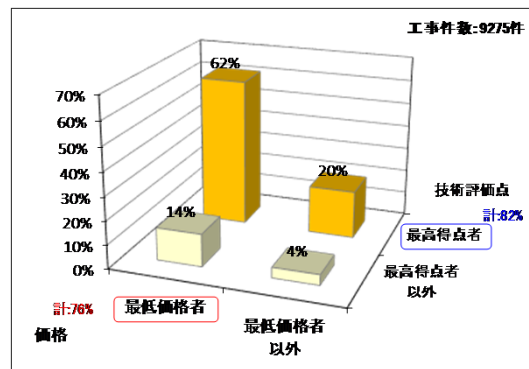
【平成23年度】



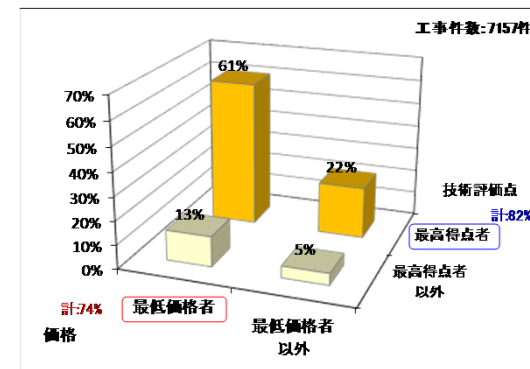
【平成24年度】



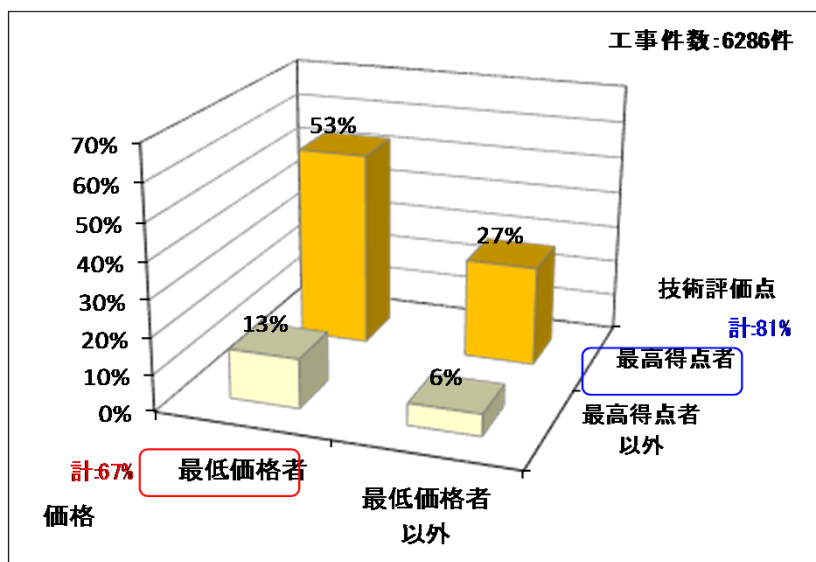
【平成25年度】



【平成26年度】



【平成27年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争

注2) 施工能力評価型には二極化前の簡易型を含む

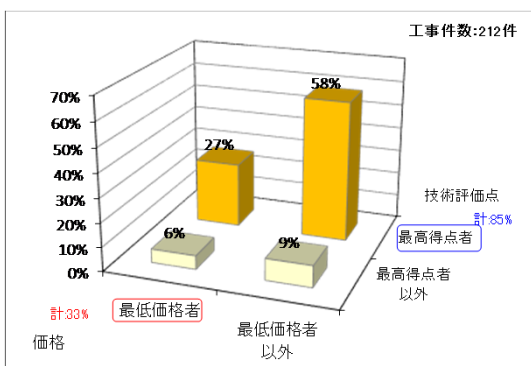
注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

1. 経年変化等の状況

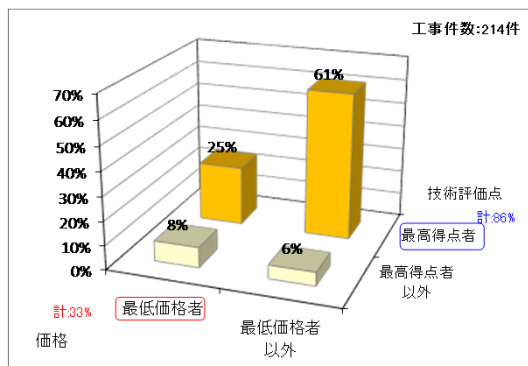
(10) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合 [WTO技術提案評価型 (S型)]

■ WTO技術提案評価型(S型)における「落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合」は、平成23年度以降85%以上で推移している。また、「落札者に占める最低価格者の割合」は、平成25年度に48%に増加したが、平成26年度以降は40%程度で推移している。

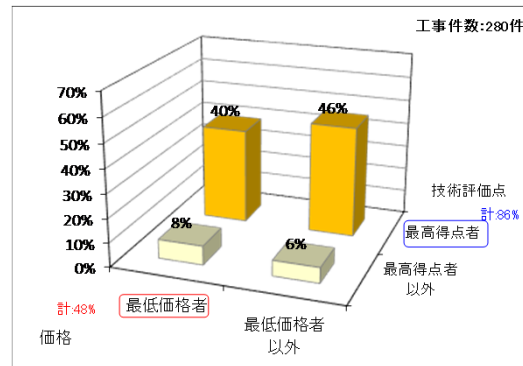
【平成23年度】



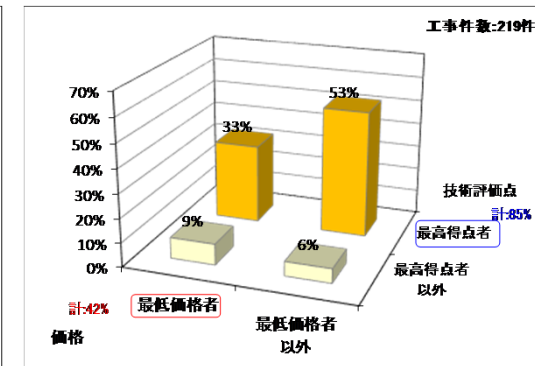
【平成24年度】



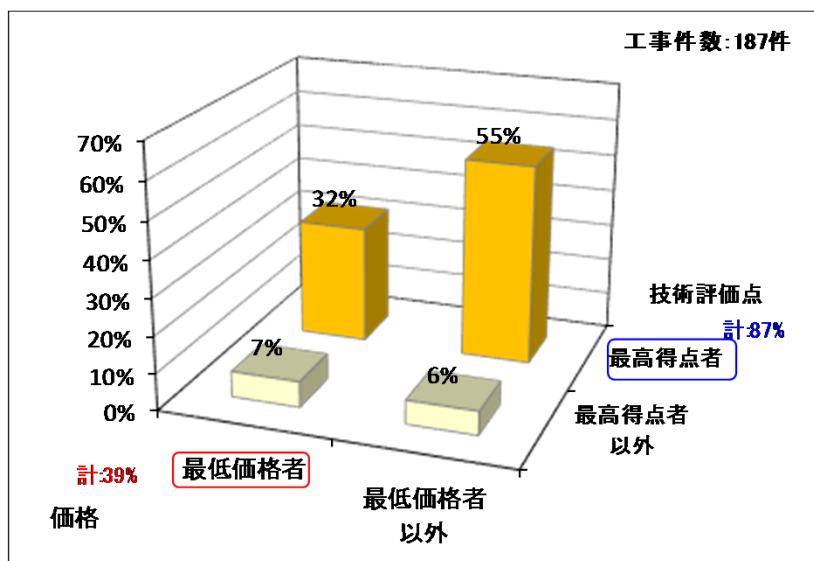
【平成25年度】



【平成26年度】



【平成27年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争

注2) WTO技術提案評価型(S型)には二極化前のWTO標準型も含む

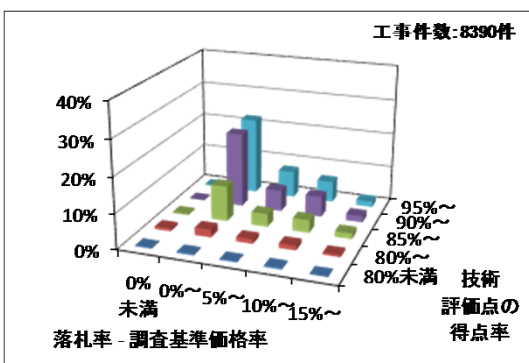
注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

1. 経年変化等の状況

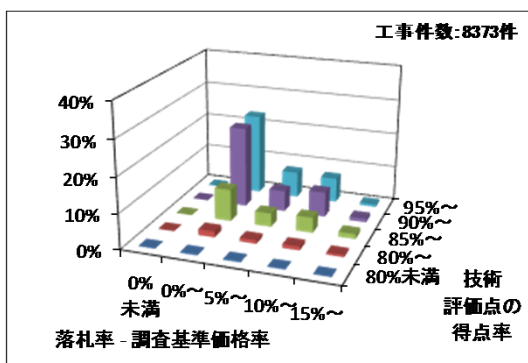
(11) 落札者の「落札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」

■ 落札者の「落札率と調査基準価格率の差」と「技術評価点の得点率」は、ともに顕著な経年変化は生じていない。

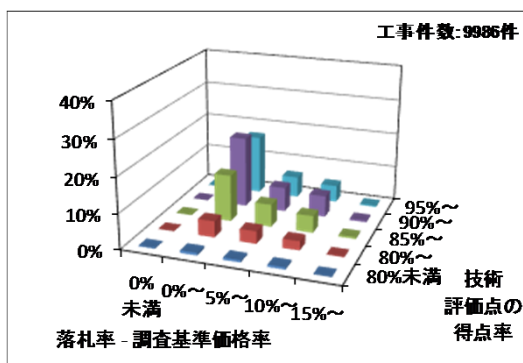
【平成23年度】



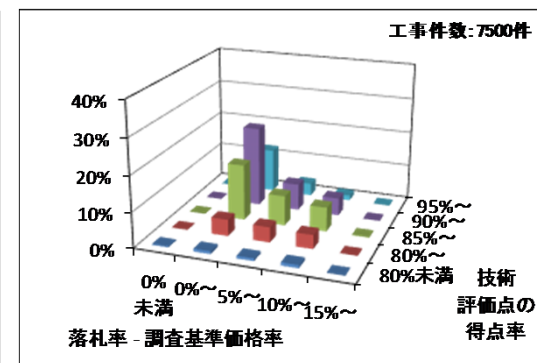
【平成24年度】



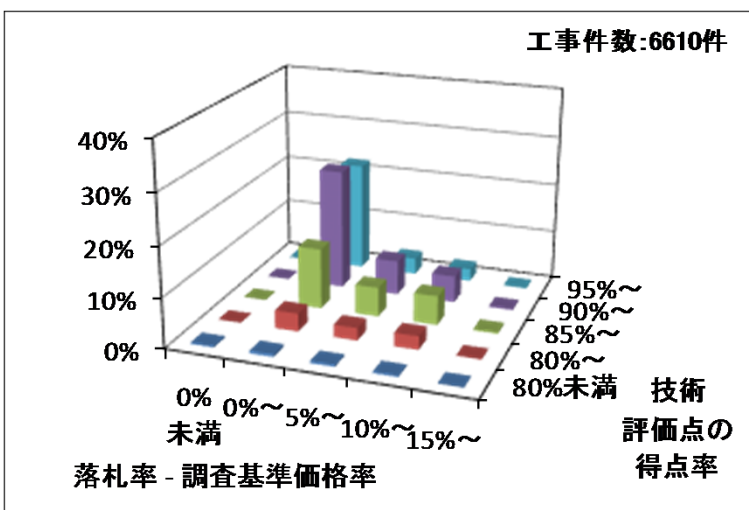
【平成25年度】



【平成26年度】



【平成27年度】



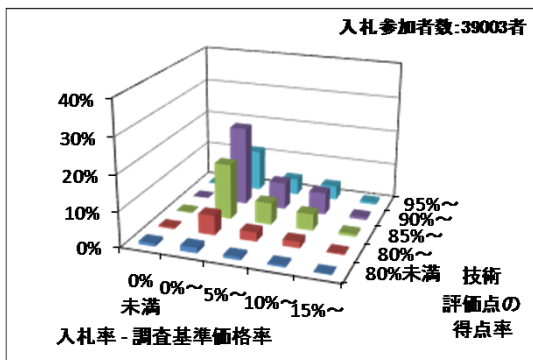
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・調査基準価格が設定されていない工事

1. 経年変化等の状況

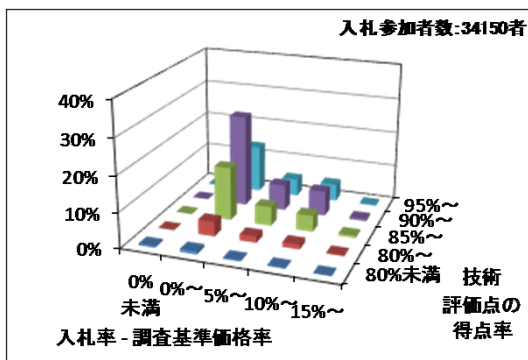
(12) 入札参加者の「入札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」

■ 入札参加者の「入札率と調査基準価格率の差」と「技術評価点の得点率」は、ともに顕著な経年変化は生じていない。

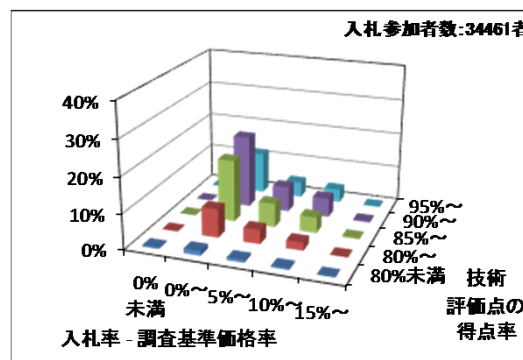
【平成23年度】



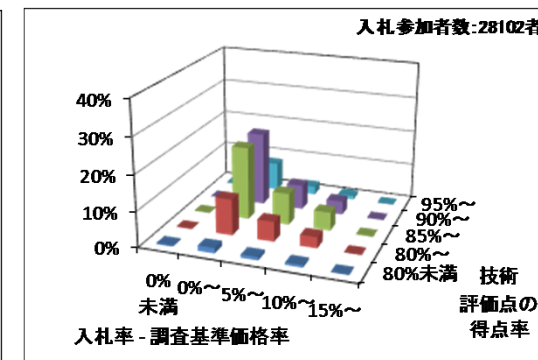
【平成24年度】



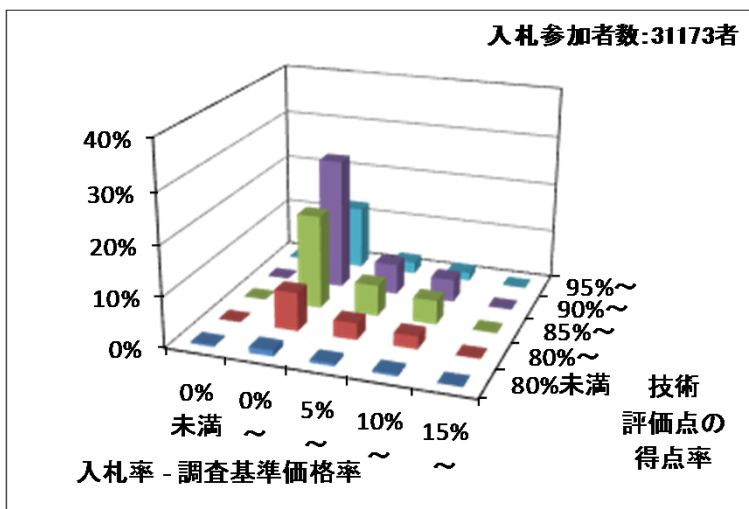
【平成25年度】



【平成26年度】



【平成27年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・調査基準価格が設定されていない工事

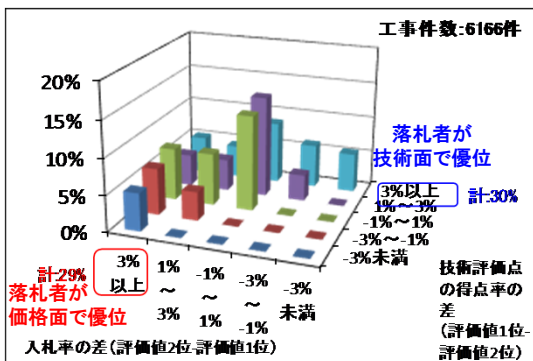
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。

1. 経年変化等の状況

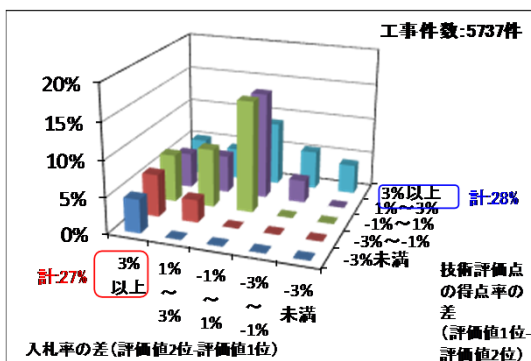
(13) 落札者（評価値1位）と次点者（評価値2位）の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差

- 「落札者と次点者の技術評価点の得点率の差」は、顕著な経年変化は生じていない。
- 「落札者と次点者の入札率の差」は、入札率の差が大きい工事(3%以上)の割合が経年で減少傾向にある。

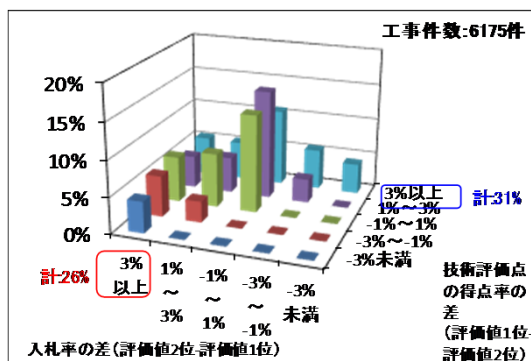
【平成23年度】



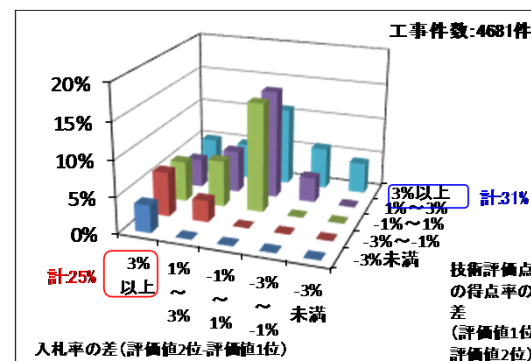
【平成24年度】



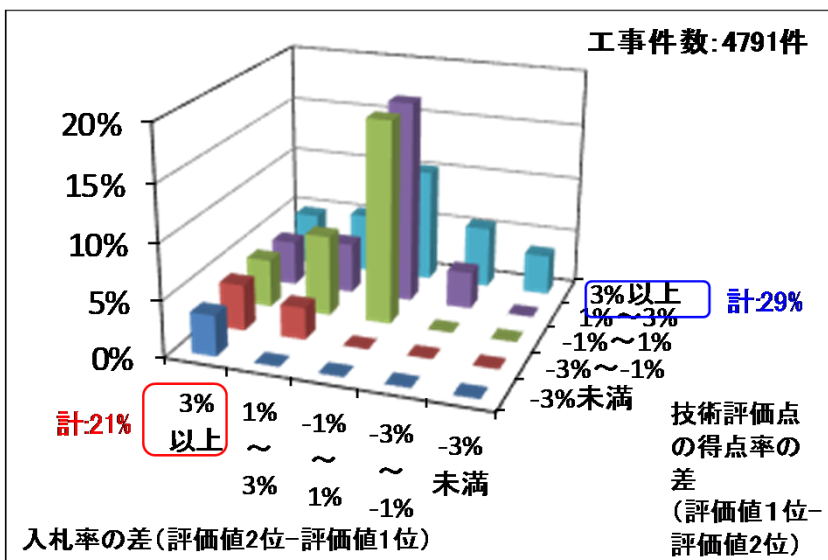
【平成25年度】



【平成26年度】



【平成27年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・予定価格内1者の工事

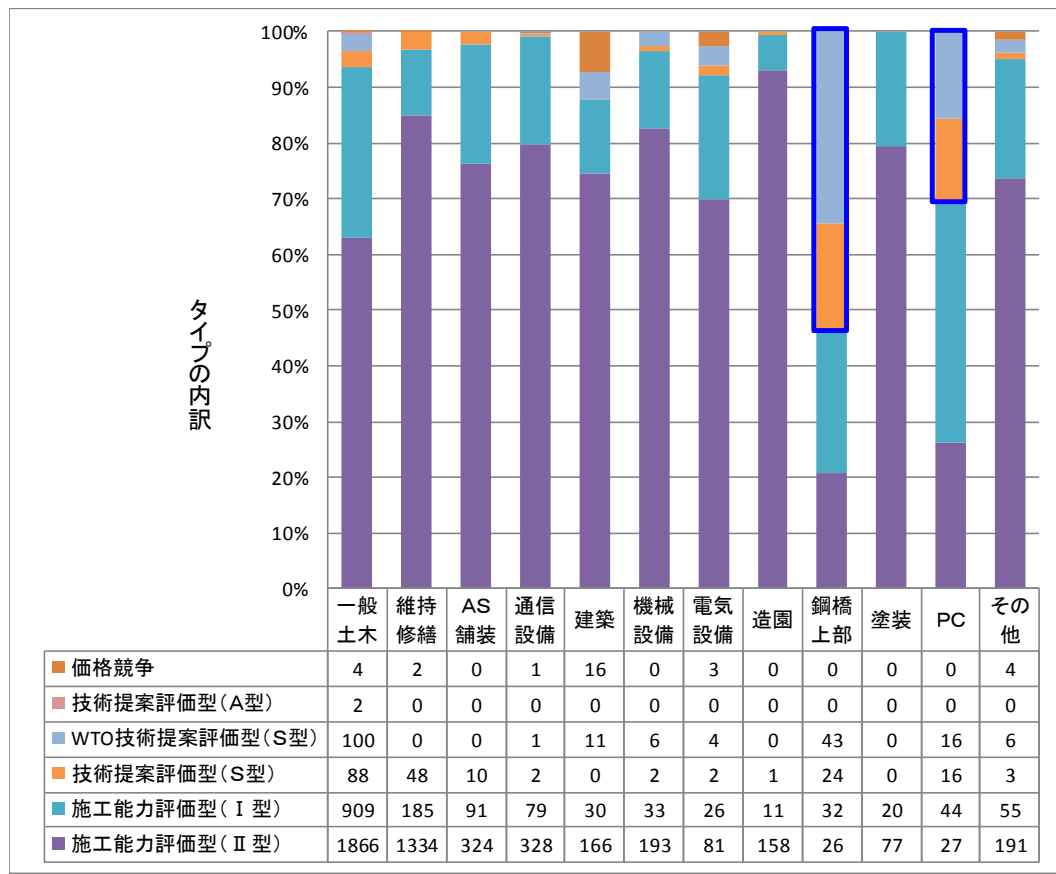
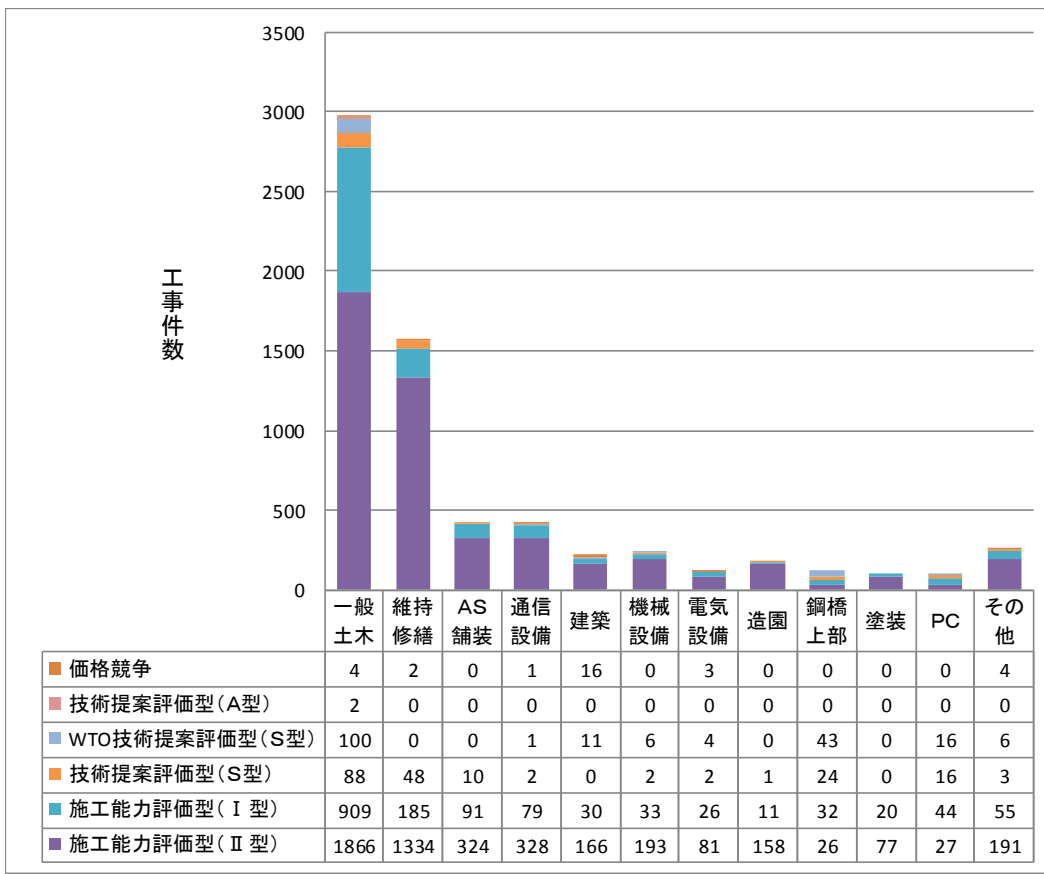
注2) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

2. 契約タイプ別適用状況と競争参加状況(平成27年度)

(1) 契約タイプ別の適用状況

- 鋼橋上部とPC以外の工事種別は、施工能力評価型の適用が9割を超えている。
- 鋼橋上部とPCにおける施工能力評価型の適用は、5~7割程度であり、残り3~5割程度の工事で技術提案評価型を適用している。

工事件数:6,701件



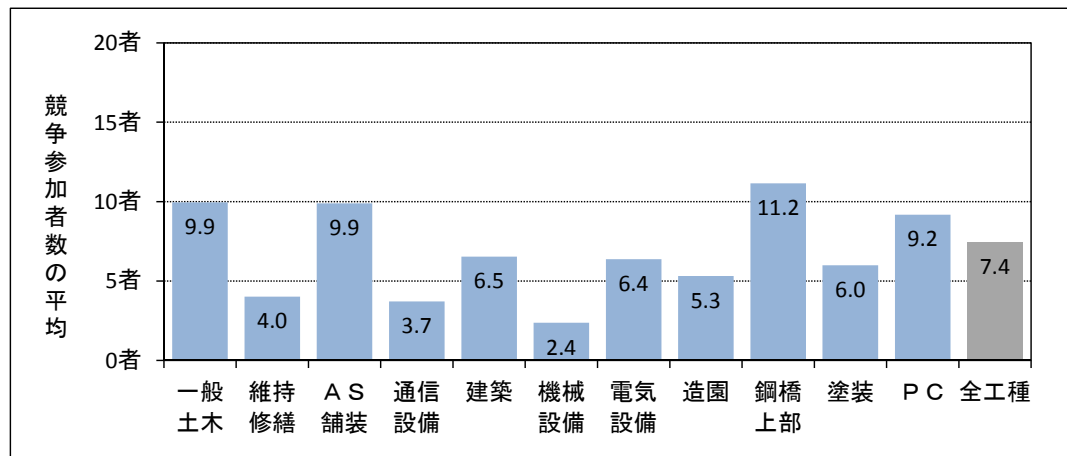
注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事

2. 契約タイプ別適用状況と競争参加状況(平成27年度)

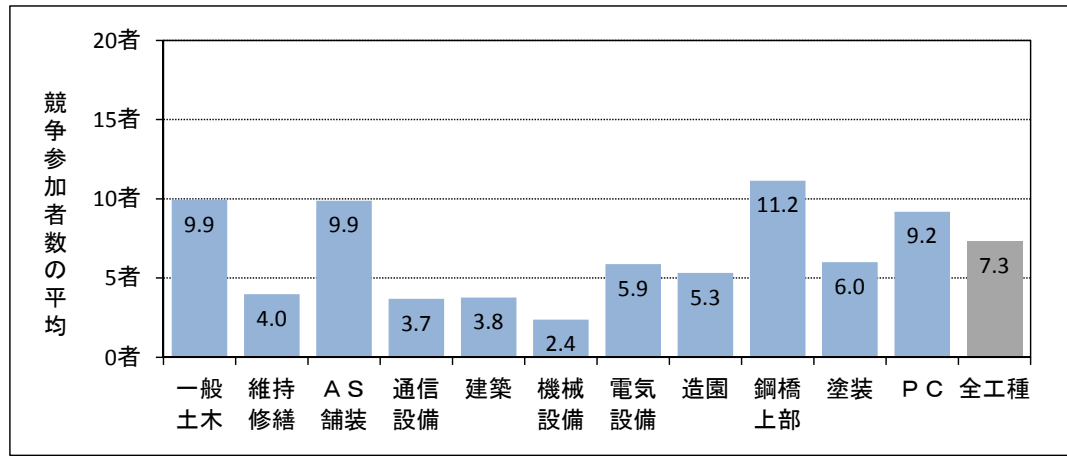
(2) 競争参加の状況

- 「競争参加者数」は、一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCが多く、維持修繕、通信設備、機械設備は少ない。
- 総合評価のタイプ別では、WTO技術提案評価型(S型)の「競争参加者数」は、平均16.9者と他のタイプに比べて多い。

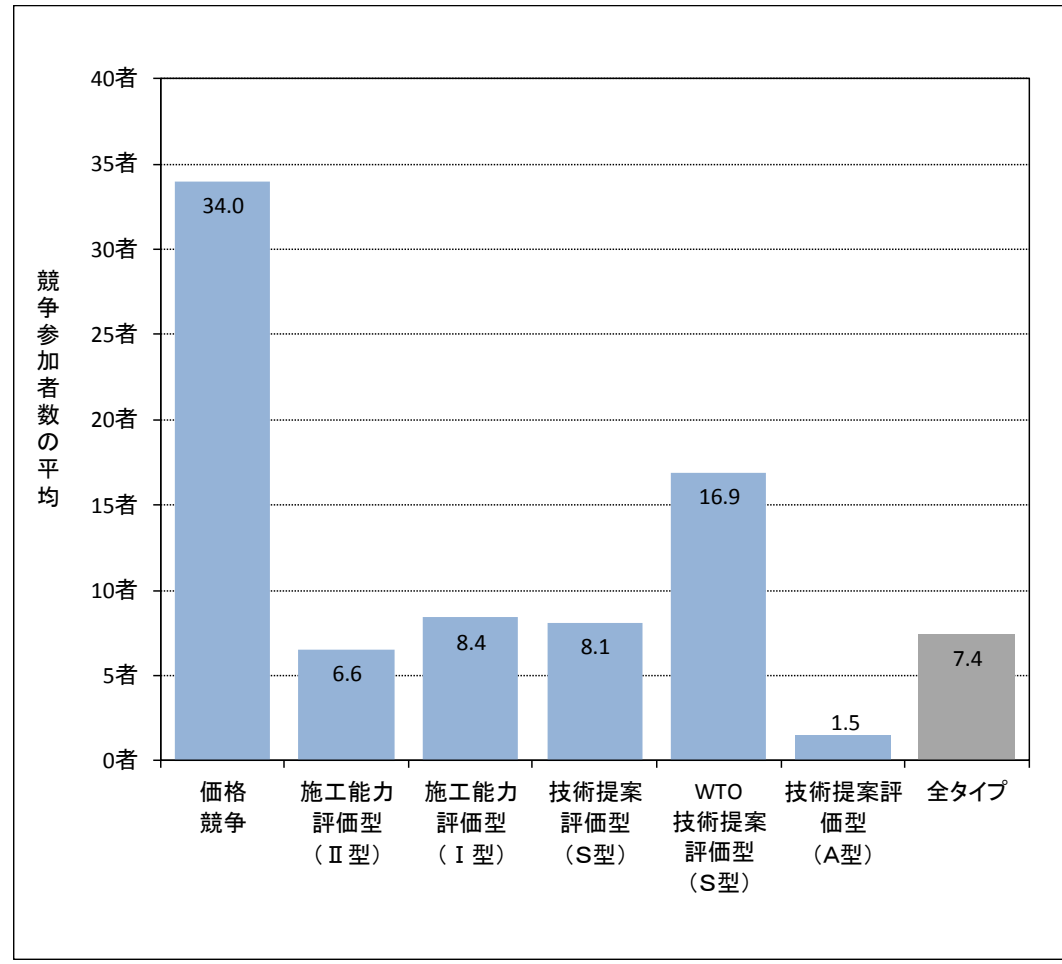
① 工事種別別



《参考》工事種別別 (価格競争を除く場合)



② 契約タイプ別



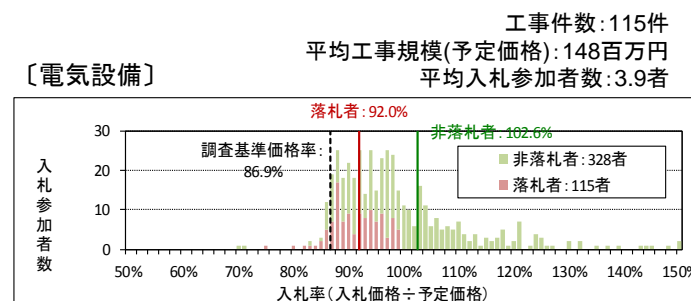
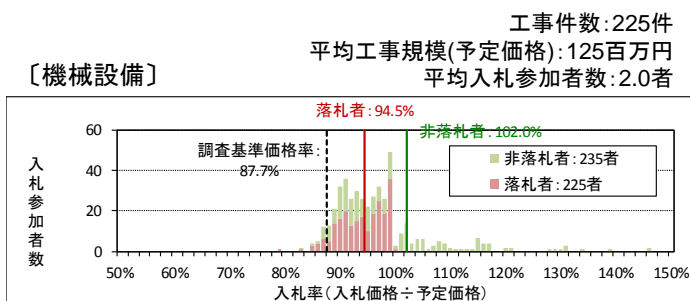
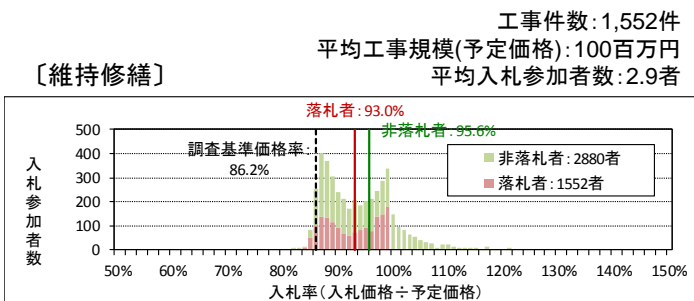
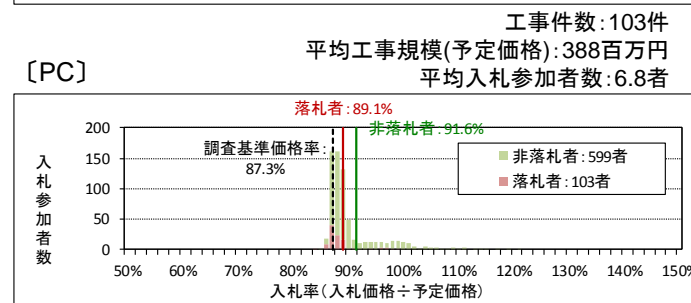
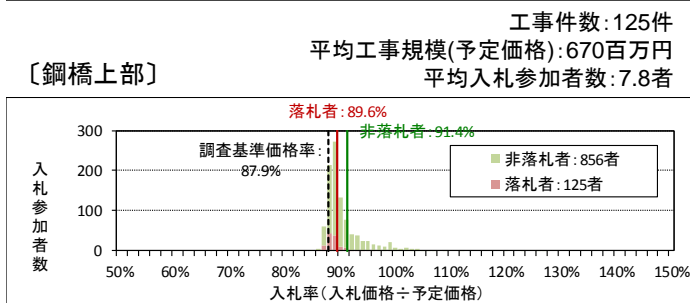
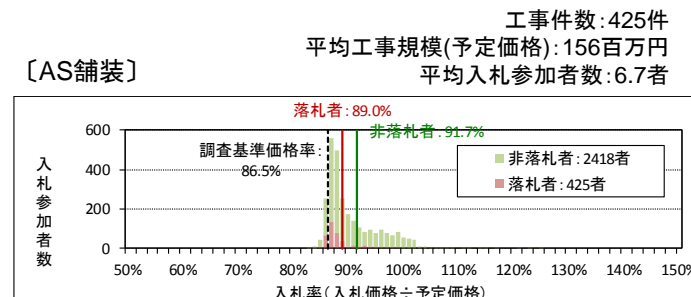
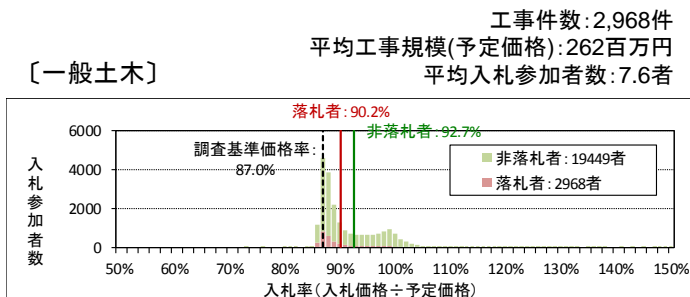
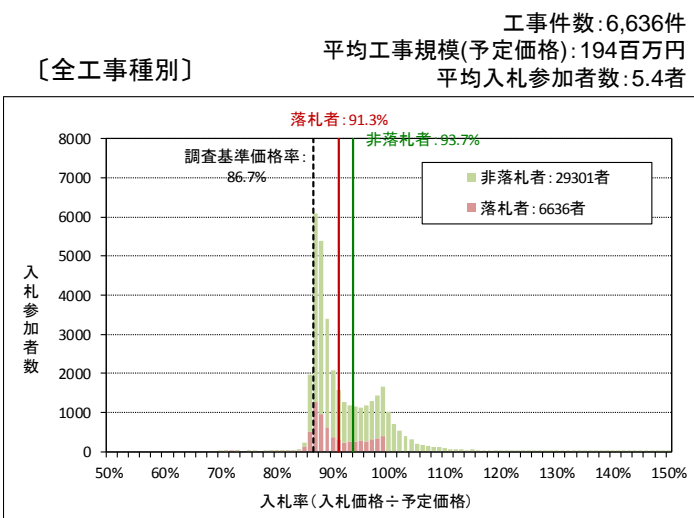
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 注2) 競争参加者数には、無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。

3. 入札の状況(平成27年度)

(1) 入札率の分布

① 工事種別別

■ 維持修繕、機械設備、電気設備における「入札率」の分布は、調査基準価格付近と予定価格付近に2つのピークをもつ形状となっているが、一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCでは調査基準価格付近に分布が集中する傾向が見られる。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・調査基準価格の設定されていない工事を除く。

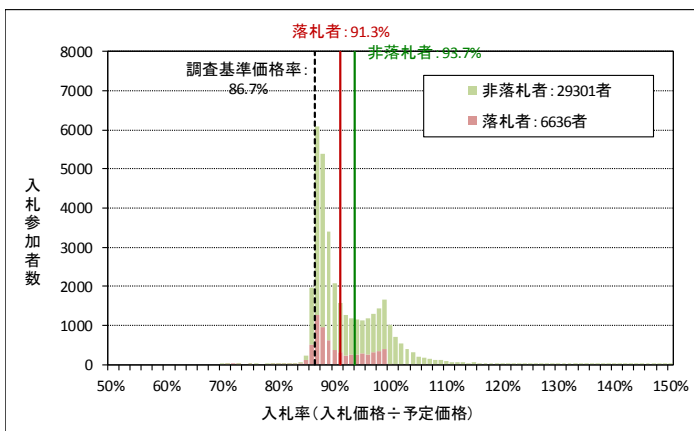
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

3. 入札の状況(平成27年度)

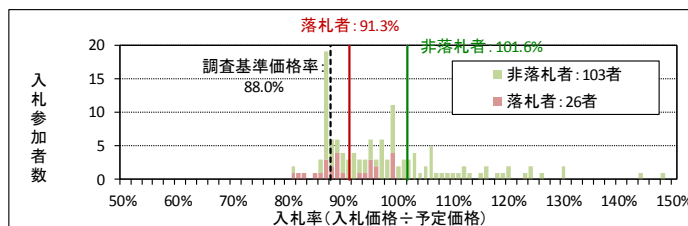
②契約タイプ別

■ 施工能力評価型における「入札率」の分布は、調査基準価格付近と予定価格付近に2つのピークをもつ形状となっているが、技術提案評価型では調査基準価格付近に分布が集中する傾向が見られる。

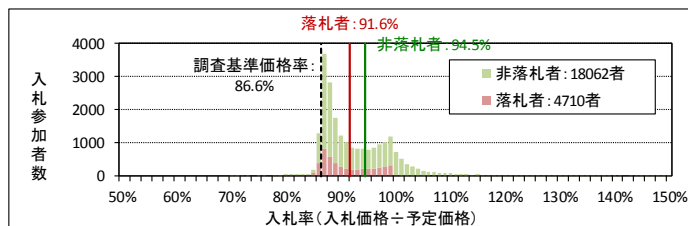
[全タイプ] 工事件数: 6,636件
平均工事規模(予定価格): 194百万円
平均入札参加者数: 5.4者



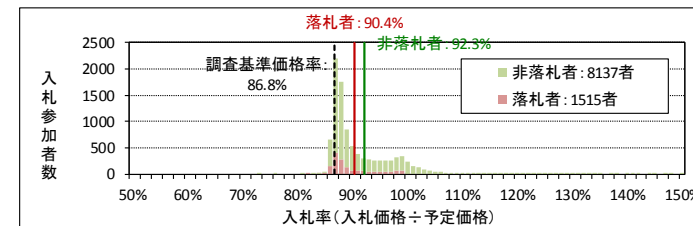
[価格競争] 工事件数: 26件
平均工事規模(予定価格): 106百万円
平均入札参加者数: 5者



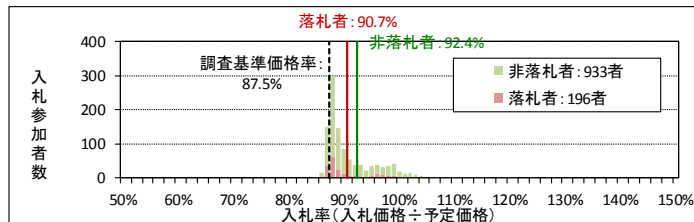
[施工能力評価型(Ⅱ型)] 工事件数: 4,710件
平均工事規模(予定価格): 122百万円
平均入札参加者数: 4.8者



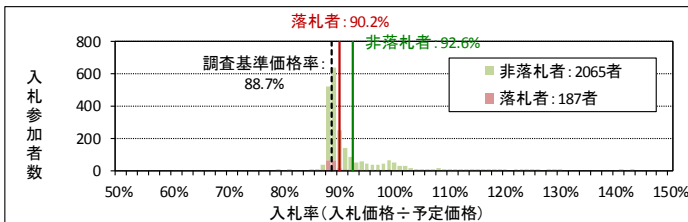
[施工能力評価型(Ⅰ型)] 工事件数: 1,515件
平均工事規模(予定価格): 173百万円
平均入札参加者数: 6.4者



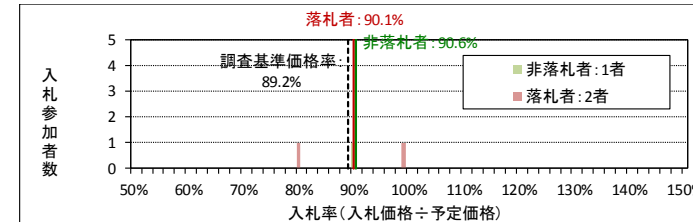
[技術提案評価型(S型)] 工事件数: 196件
平均工事規模(予定価格): 278百万円
平均入札参加者数: 5.8者



[WTO技術提案評価型(S型)] 工事件数: 187件
平均工事規模(予定価格): 1,930百万円
平均入札参加者数: 12.0者



[技術提案評価型(A型)] 工事件数: 2件
平均工事規模(予定価格): 15,451百万円
平均入札参加者数: 1.5者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・調査基準価格の設定されていない工事を除く。

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

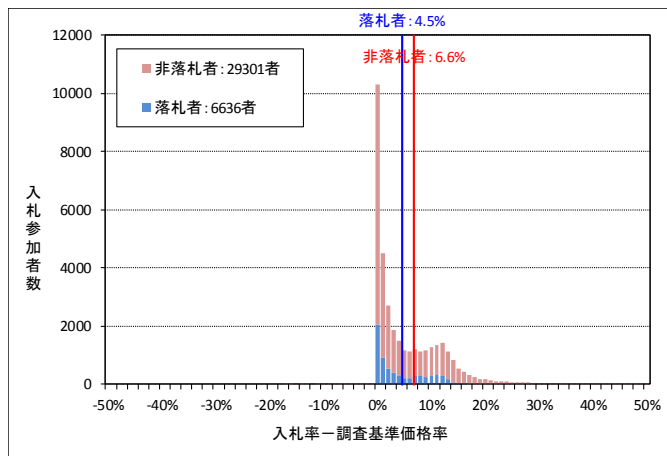
3. 入札の状況(平成27年度)

(2) 「入札率-調査基準価格率」の分布

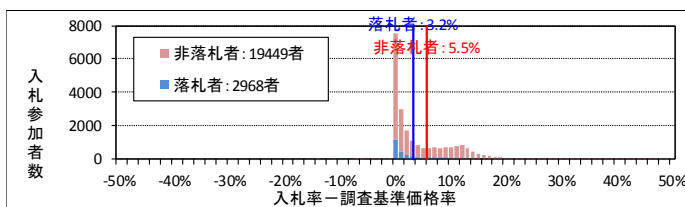
① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「入札率と調査基準価格率の差」の分布は、他の工事種別よりも0%に集中する傾向が顕著である。

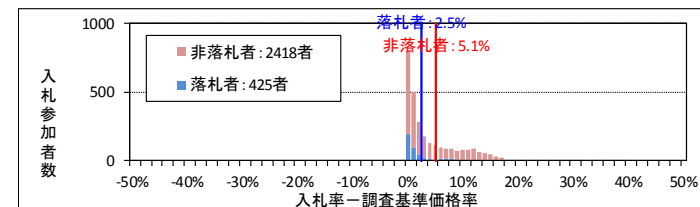
〔全工事種別〕 工事件数: 6,636件
平均工事規模(予定価格): 194百万円
平均入札参加者数: 5.4者



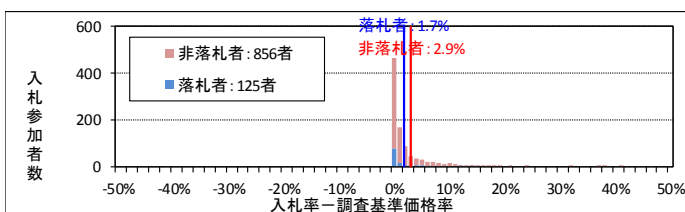
〔一般土木〕 工事件数: 2,968件
平均工事規模(予定価格): 262百万円
平均入札参加者数: 7.6者



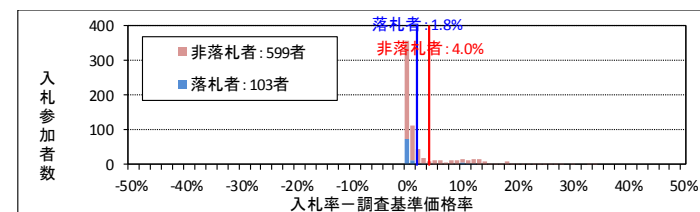
〔AS舗装〕 工事件数: 425件
平均工事規模(予定価格): 156百万円
平均入札参加者数: 6.7者



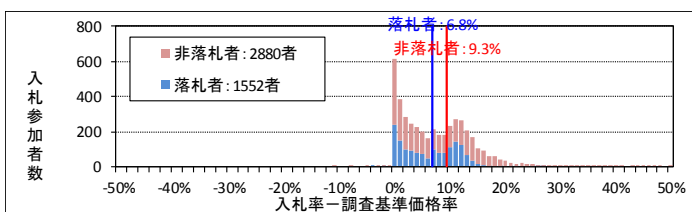
〔鋼橋上部〕 工事件数: 125件
平均工事規模(予定価格): 670百万円
平均入札参加者数: 7.8者



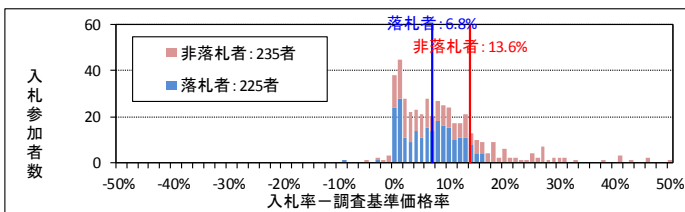
〔PC〕 工事件数: 103件
平均工事規模(予定価格): 388百万円
平均入札参加者数: 6.8者



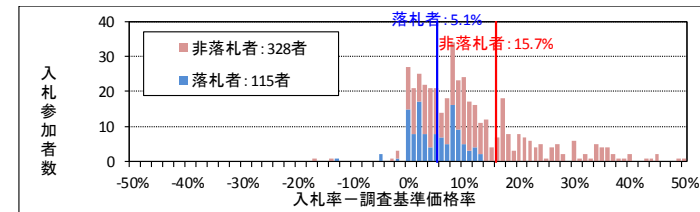
〔維持修繕〕 工事件数: 1,552件
平均工事規模(予定価格): 100百万円
平均入札参加者数: 2.9者



〔機械設備〕 工事件数: 225件
平均工事規模(予定価格): 125百万円
平均入札参加者数: 2.0者



〔電気設備〕 工事件数: 115件
平均工事規模(予定価格): 148百万円
平均入札参加者数: 3.9者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・調査基準価格の設定されていない工事を除く。

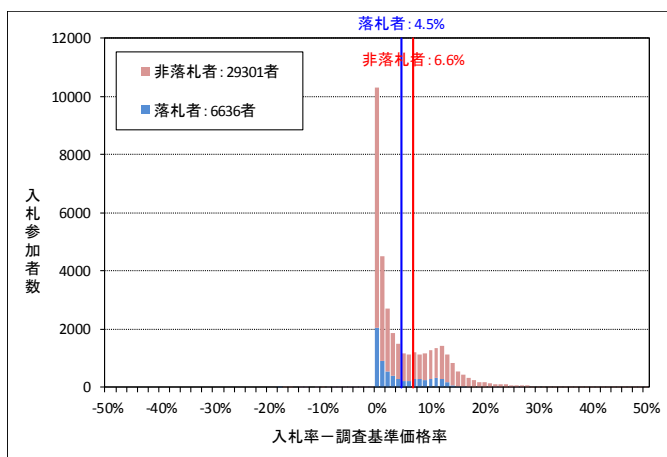
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

3. 入札の状況(平成27年度)

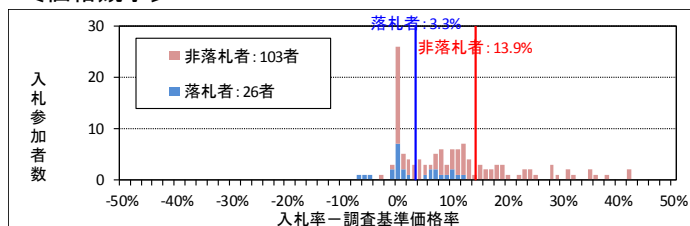
②契約のタイプ別

- 技術提案評価型(A型除く)における「入札率と調査基準価格率の差」の分布は、施工能力評価型よりも0%に集中する傾向が顕著である。
- 価格競争における「入札率と調査基準価格率の差」の分布は、施工体制確認型が適用されない影響を受け、0%未満の落札も発生している。

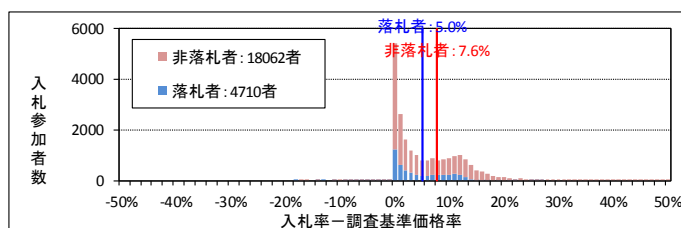
工事件数: 6,636件
平均工事規模(予定価格): 194百万円
平均入札参加者数: 5.4者
〔全タイプ〕



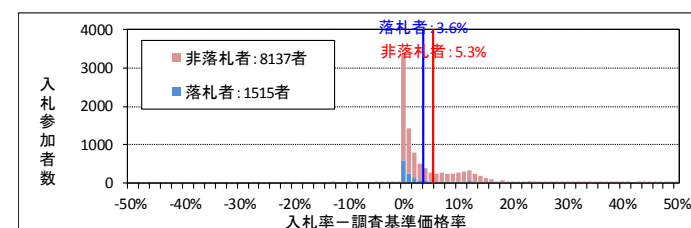
工事件数: 26件
平均工事規模(予定価格): 106百万円
平均入札参加者数: 5者
〔価格競争〕



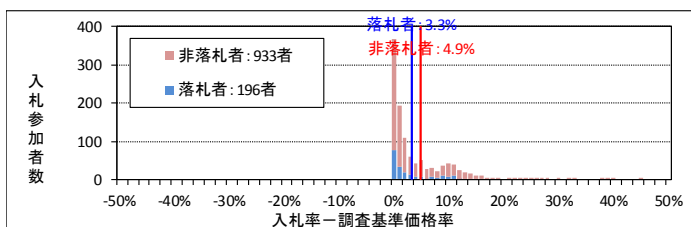
工事件数: 4,710件
平均工事規模(予定価格): 122百万円
平均入札参加者数: 4.8者
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕



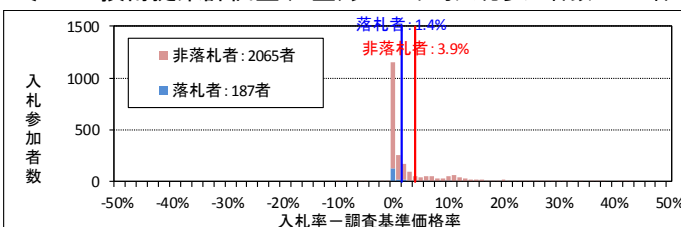
工事件数: 1,515件
平均工事規模(予定価格): 173百万円
平均入札参加者数: 6.4者
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕



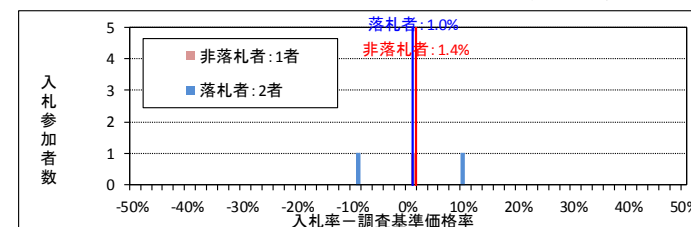
工事件数: 196件
平均工事規模(予定価格): 278百万円
平均入札参加者数: 5.8者
〔技術提案評価型(S型)〕



工事件数: 187件
平均工事規模(予定価格): 1,930百万円
平均入札参加者数: 12.0者
〔WTO技術提案評価型(S型)〕



工事件数: 2件
平均工事規模(予定価格): 15,451百万円
平均入札参加者数: 1.5者
〔技術提案評価型(A型)〕



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・調査基準価格の設定されていない工事を除く。

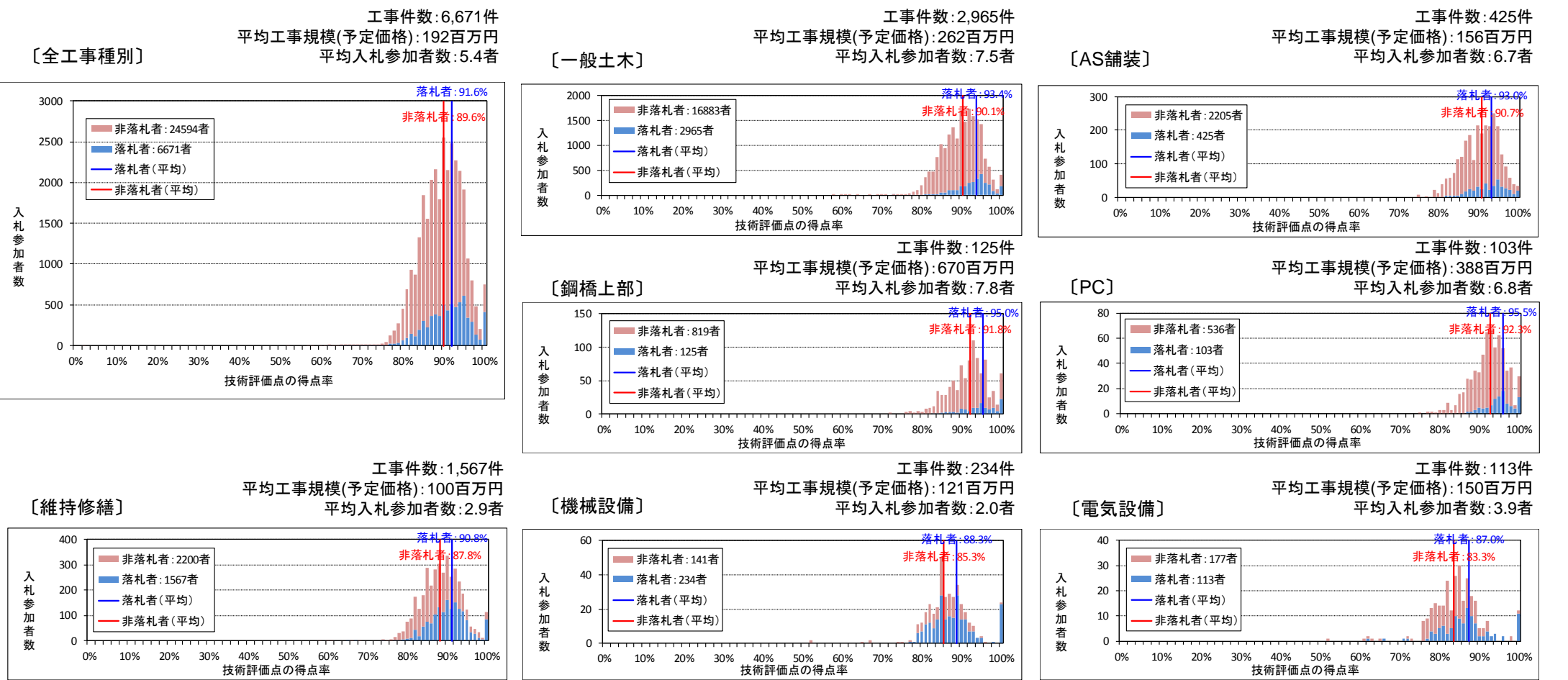
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況(平成27年度)

(1) 得点率の分布

① 工事種別別

- 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点の得点率」の平均は、他の工事種別よりも高い。
- 維持修繕、機械設備、電気設備における「技術評価点の得点率」の分布は、得点率が低い範囲にも落札者が分布している。



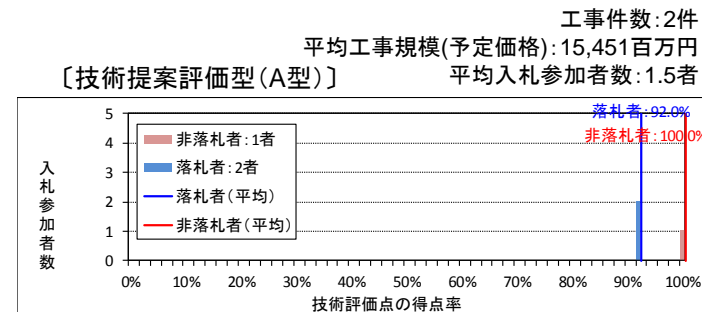
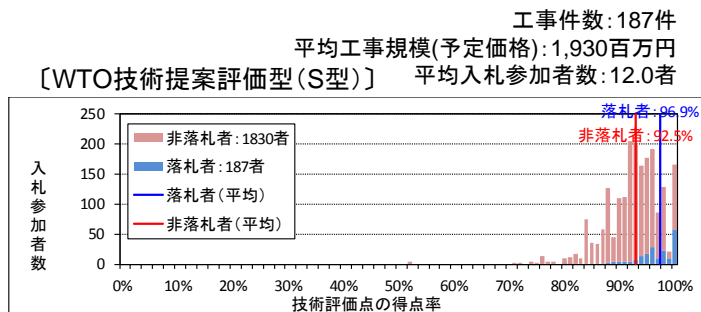
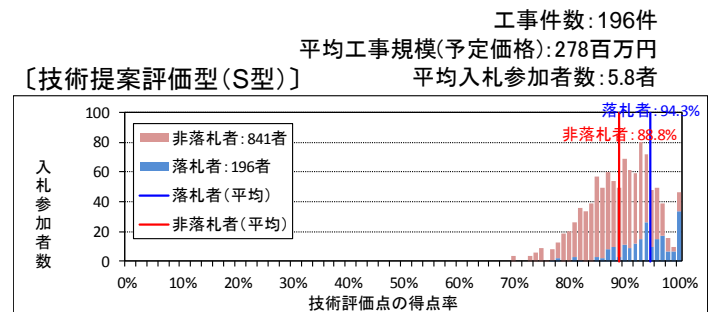
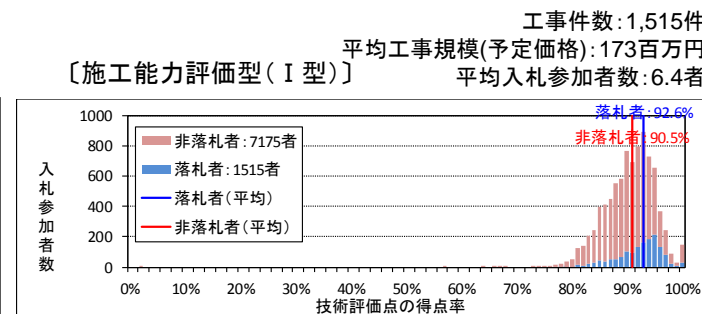
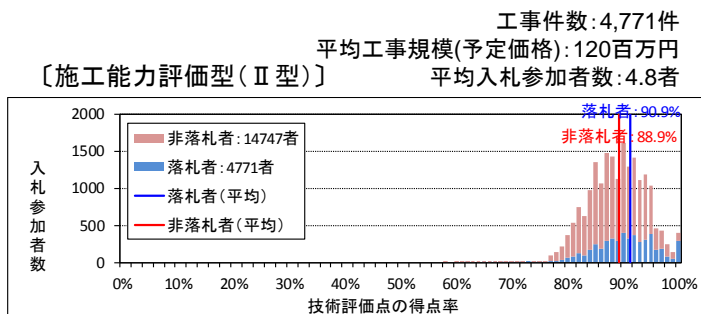
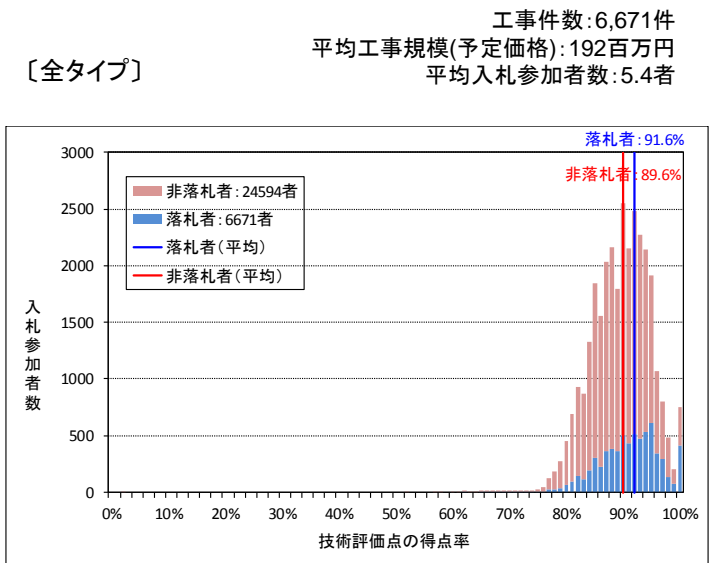
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。ただし平均入札参加者数には予定価格超過者を含む。
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況(平成27年度)

②総合評価のタイプ別

■ 技術提案評価型における「技術評価点の得点率」の平均は、施工能力評価型よりも落札者と非落札者の点差が大きい。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。ただし平均入札参加者数には予定価格超過者を含む。
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

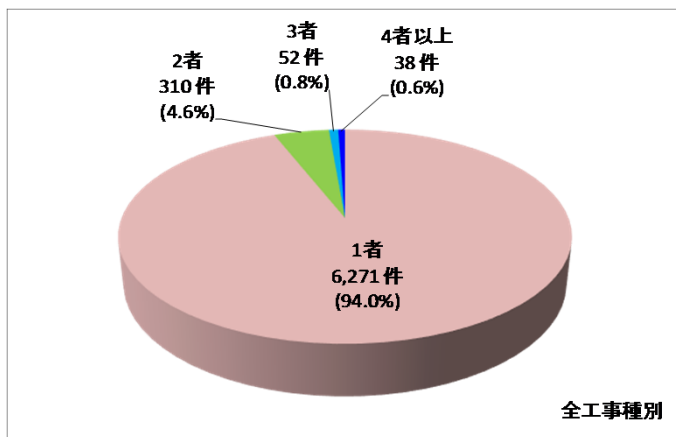
4. 技術評価の状況(平成27年度)

(2) 1位同点者数

① 工事種別別

■ 鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位同点者数」は、他の工事種別よりも2者以上の割合が多くなっている。更に鋼橋上部は、4者以上の割合も多い。

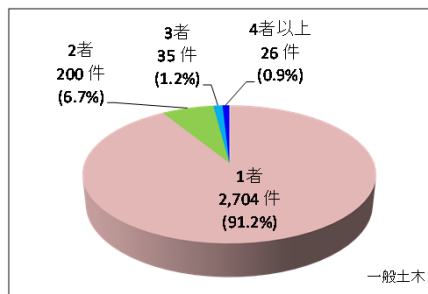
〔全工事種別〕



工事件数: 6,671件
平均工事規模
(予定価格): 192百万円
平均入札参加者数: 5.4者

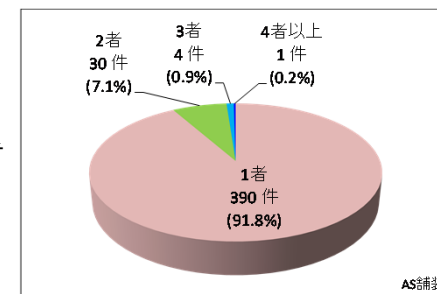
〔一般土木〕

工事件数: 2,965件
平均工事規模
(予定価格): 262百万円
平均入札参加者数: 7.5者



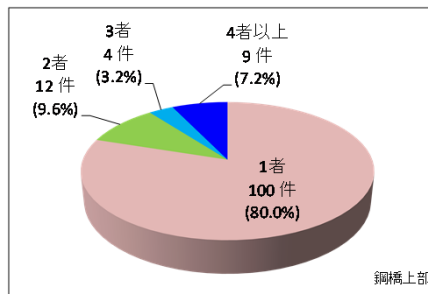
〔AS舗装〕

工事件数: 425件
平均工事規模
(予定価格): 156百万円
平均入札参加者数: 6.7者



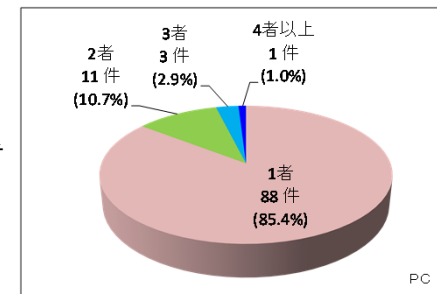
〔鋼橋上部〕

工事件数: 125件
平均工事規模
(予定価格): 670百万円
平均入札参加者数: 7.8者



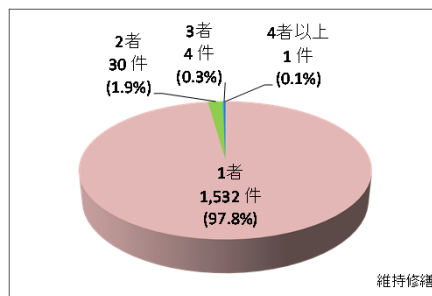
〔PC〕

工事件数: 103件
平均工事規模
(予定価格): 388百万円
平均入札参加者数: 6.8者



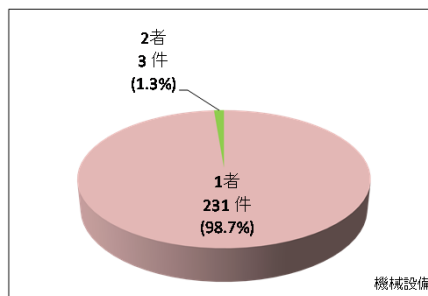
〔維持修繕〕

工事件数: 1,567件
平均工事規模
(予定価格): 100百万円
平均入札参加者数: 2.9者



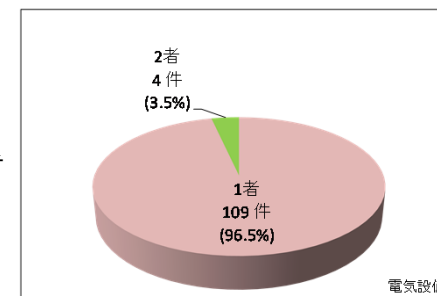
〔機械設備〕

工事件数: 234件
平均工事規模
(予定価格): 121百万円
平均入札参加者数: 2.0者



〔電気設備〕

工事件数: 113件
平均工事規模
(予定価格): 150百万円
平均入札参加者数: 3.9者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争

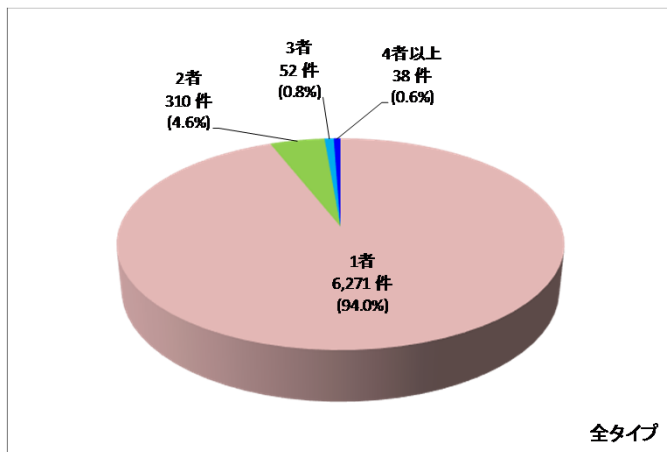
注2) 技術評価点1位同点者数は、競争参加者から無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の実施状況(平成27年度)

②総合評価のタイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点1位同点者数」は、他のタイプよりも2者以上の割合が多くなっている。

[全タイプ]

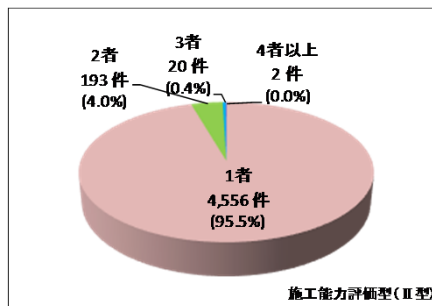


工事件数:6,671件
平均工事規模
(予定価格):192百万円
平均入札参加者数:5.4者

全タイプ

[施工能力評価型(Ⅱ型)]

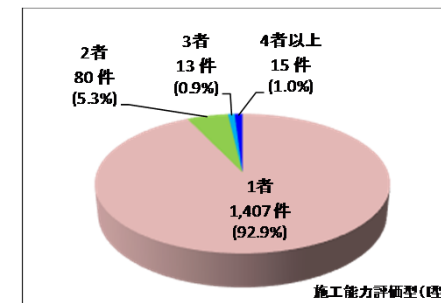
工事件数:4,771件
平均工事規模
(予定価格):120百万円
平均入札参加者数:4.8者



施工能力評価型(Ⅱ型)

[施工能力評価型(Ⅰ型)]

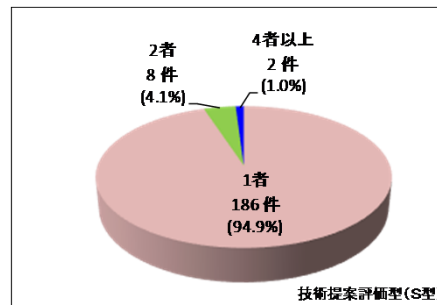
工事件数:1,515件
平均工事規模
(予定価格):173百万円
平均入札参加者数:6.4者



施工能力評価型(Ⅰ型)

[技術提案評価型(S型)]

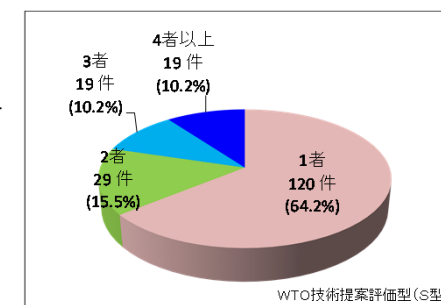
工事件数:196件
平均工事規模
(予定価格):278百万円
平均入札参加者数:5.8者



技術提案評価型(S型)

[WTO技術提案評価型(S型)]

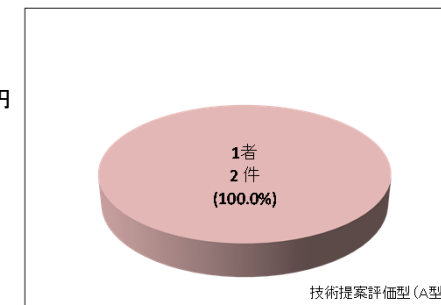
工事件数:187件
平均工事規模
(予定価格):1,930百万円
平均入札参加者数:12.0者



WTO技術提案評価型(S型)

[技術提案評価型(A型)]

工事件数:2件
平均工事規模
(予定価格):15,451百万円
平均入札参加者数:1.5者



技術提案評価型(A型)

注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争

注2)技術評価点1位同点者数は、競争参加者から無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

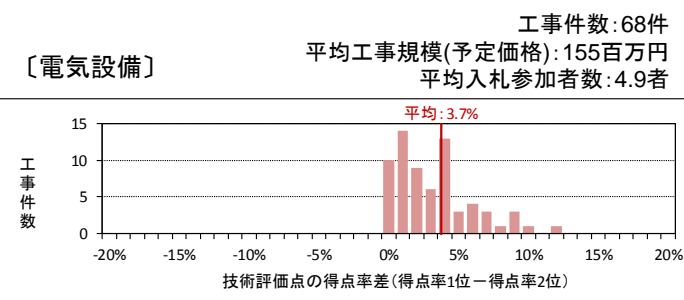
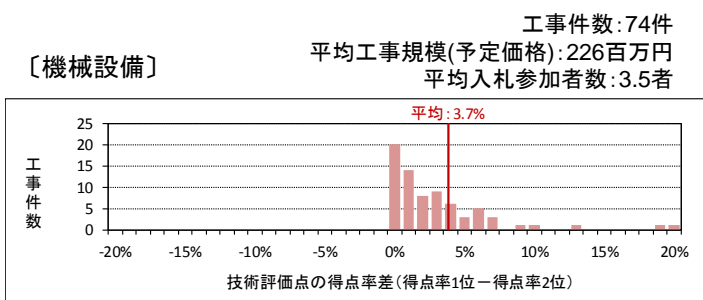
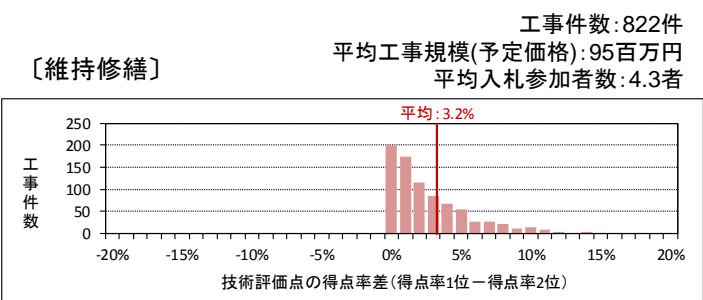
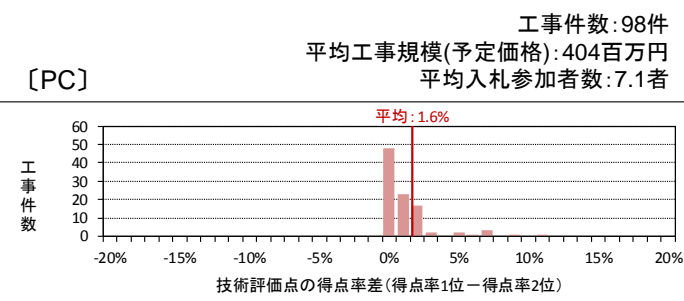
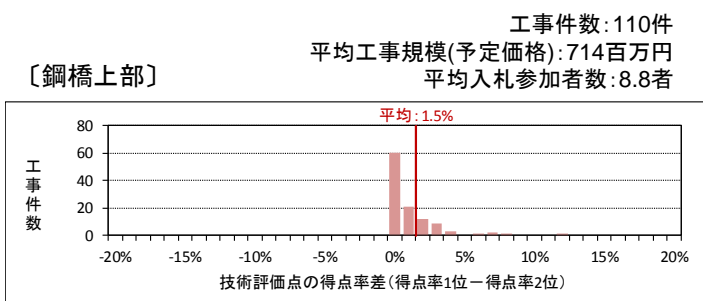
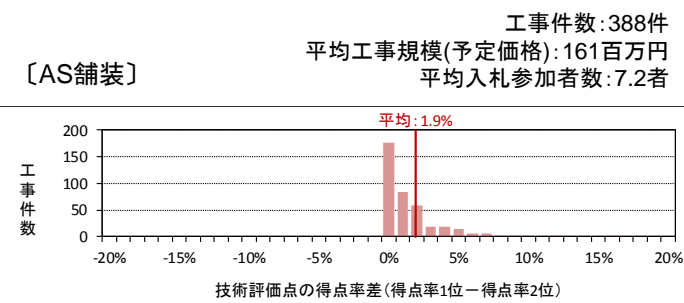
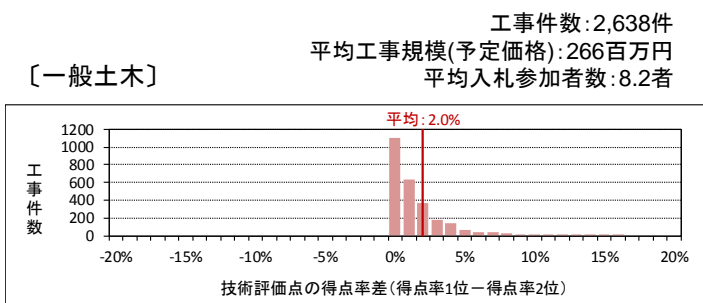
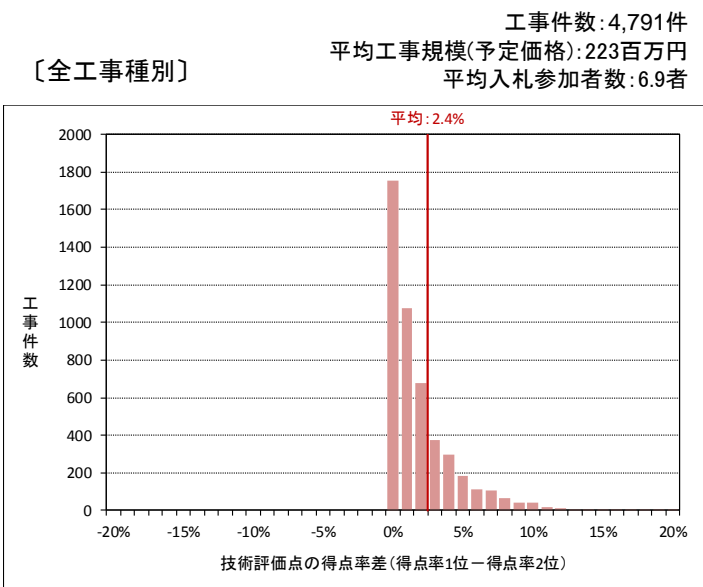
注3)平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況(平成27年度)

(3) 1位と2位の得点率の差の分布

① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位と2位の得点率の差」は、他の工事種別よりも小さい。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・予定価格内1者の案件

注2) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
 ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

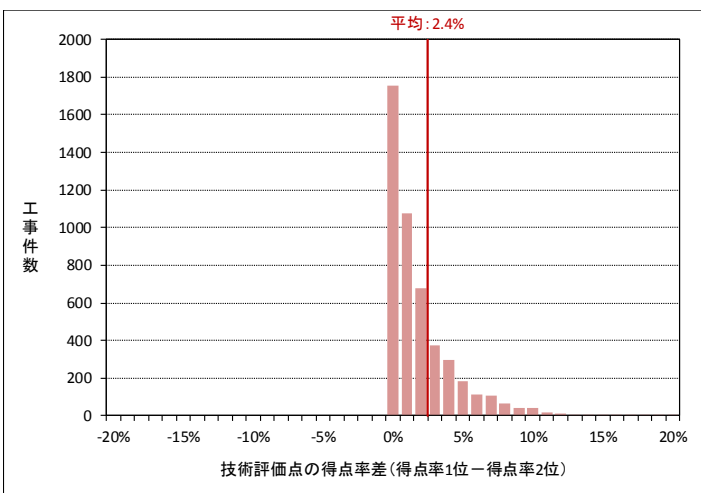
4. 技術評価の状況(平成27年度)

②総合評価のタイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点1位と2位の得点率の差」は、他のタイプよりも小さい。

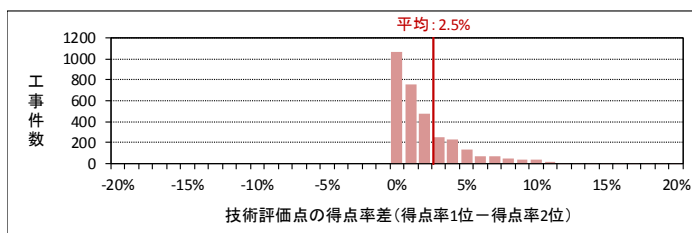
工事件数: 4,791件
平均工事規模(予定価格): 223百万円
平均入札参加者数: 6.9者

[全タイプ]



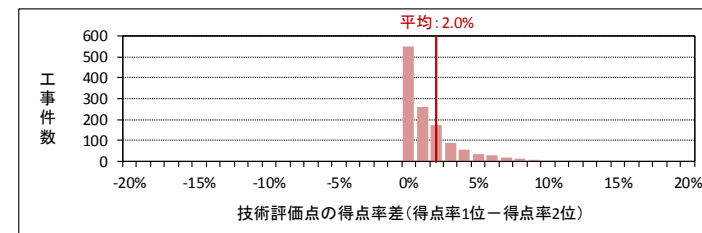
工事件数: 3,240件
平均工事規模(予定価格): 136百万円
平均入札参加者数: 6.4者

[施工能力評価型(Ⅱ型)]



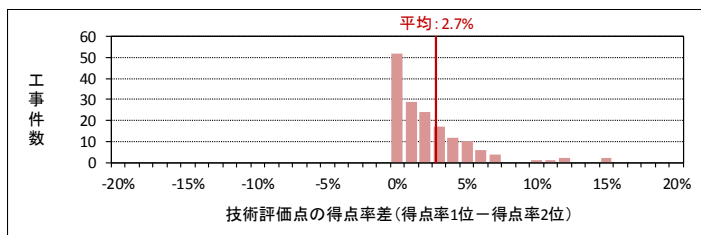
工事件数: 1,220件
平均工事規模(予定価格): 180百万円
平均入札参加者数: 7.5者

[施工能力評価型(Ⅰ型)]



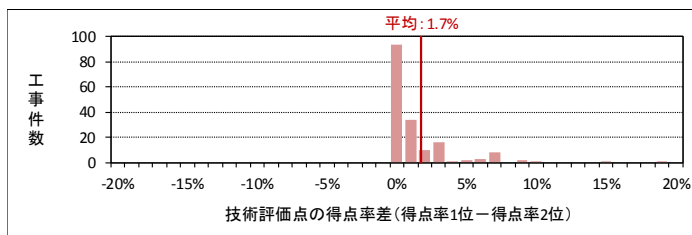
工事件数: 157件
平均工事規模(予定価格): 305百万円
平均入札参加者数: 6.9者

[技術提案評価型(S型)]



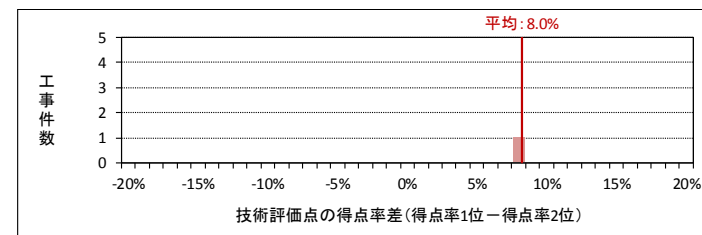
工事件数: 173件
平均工事規模(予定価格): 1,974百万円
平均入札参加者数: 12.8者

[WTO技術提案評価型(S型)]



工事件数: 1件
平均工事規模(予定価格): 18,426百万円
平均入札参加者数: 2.0者

[技術提案評価型(A型)]



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・予定価格内1者の案件

注2) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

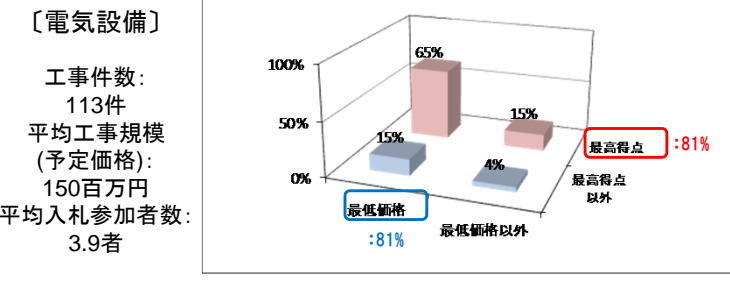
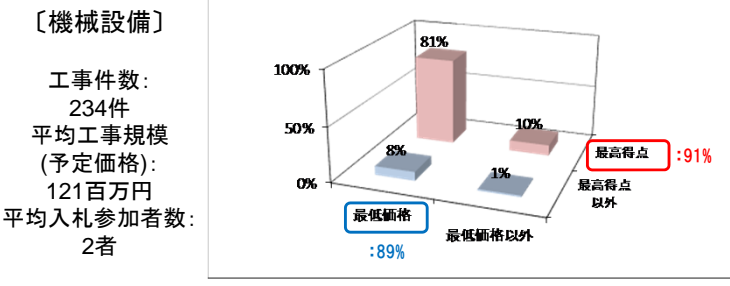
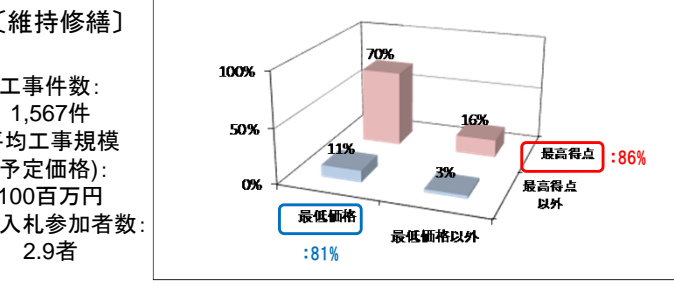
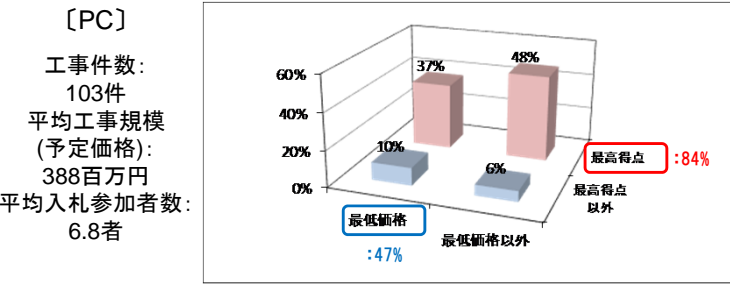
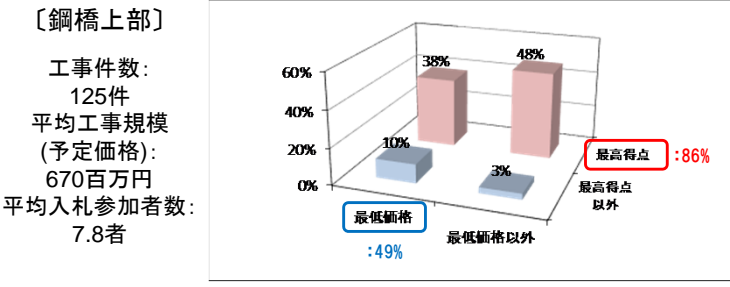
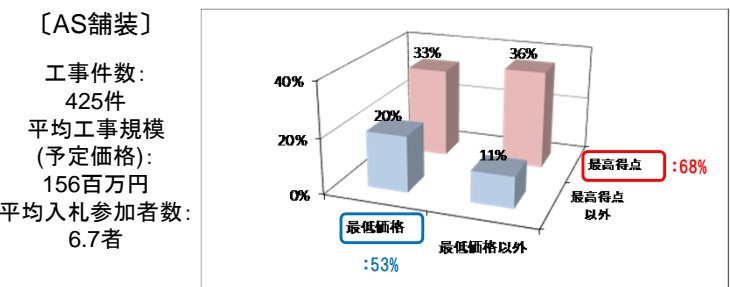
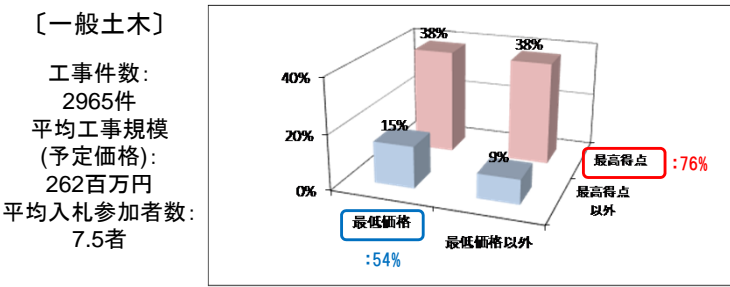
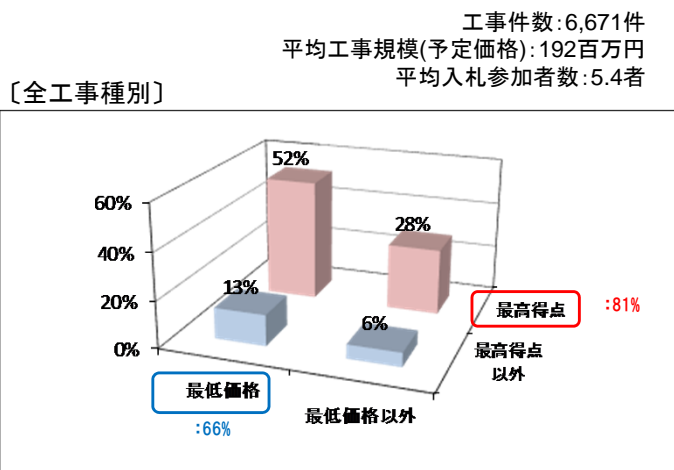
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成27年度)

(1) 落札者の内訳

① 工事種別別

■ 維持修繕、機械設備、電気設備における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の企業が落札する割合が最も高いが、AS舗装、鋼橋上部、PCでは、最高得点かつ最低価格以外の企業が落札する割合が高い。



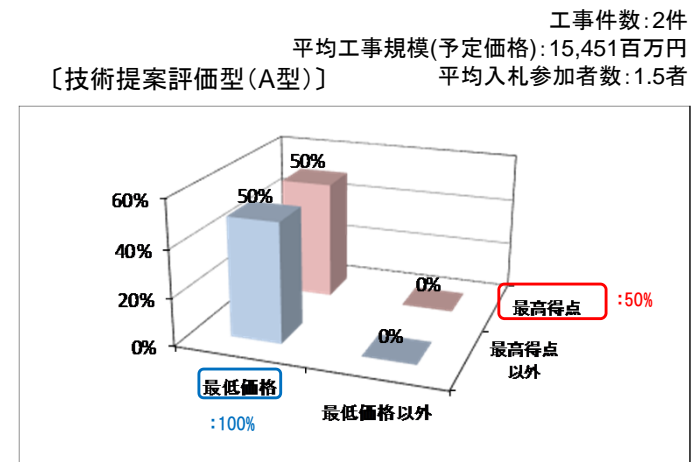
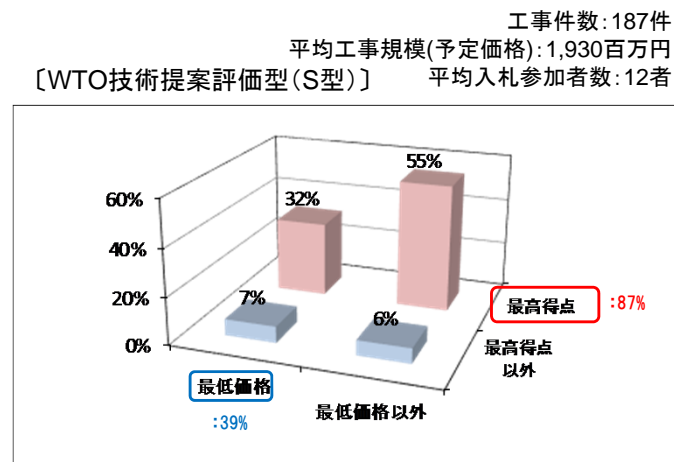
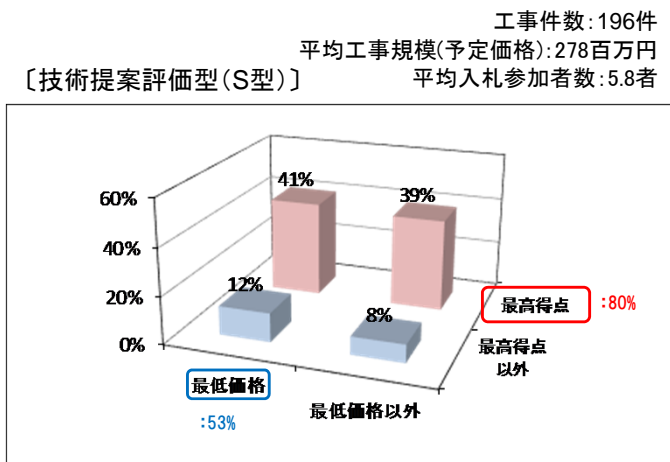
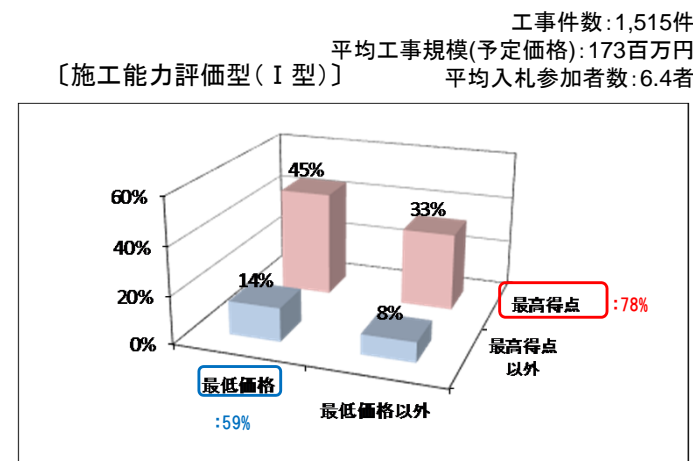
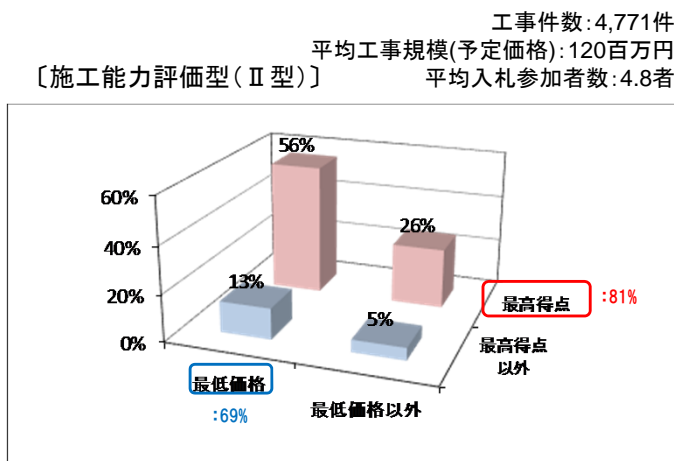
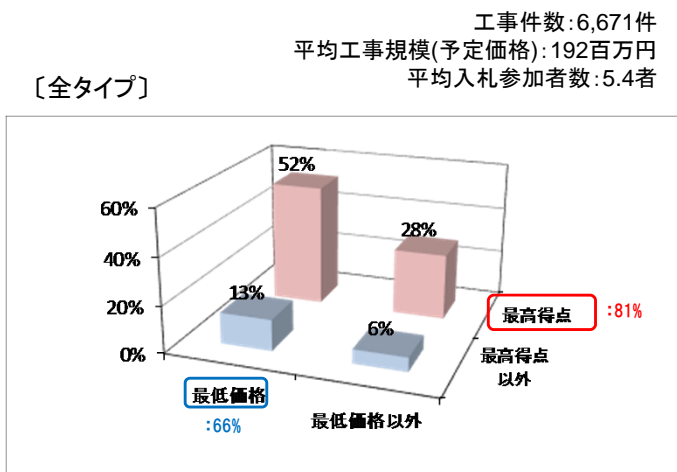
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争

注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
 注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
 注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成27年度)

②総合評価のタイプ別

■ 施工能力評価型、技術提案評価型(S型)における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の企業が落札する割合が最も高いが、WTO技術提案評価型(S型)では、最高得点かつ最低価格以外の企業が落札する割合が高い傾向にある。



注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争

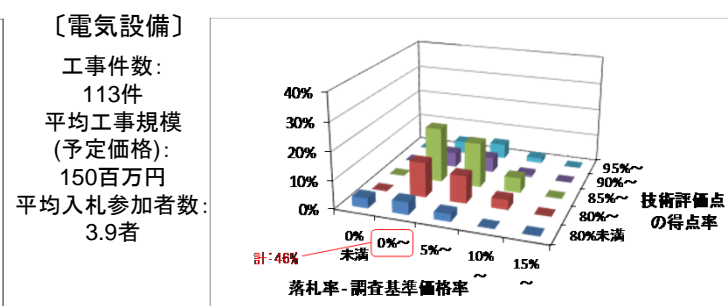
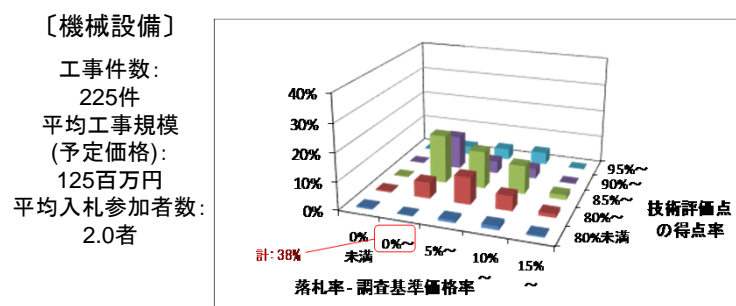
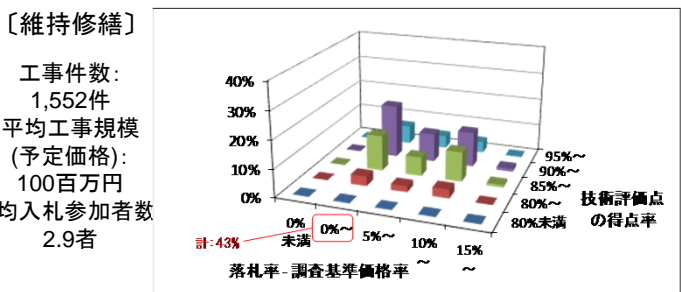
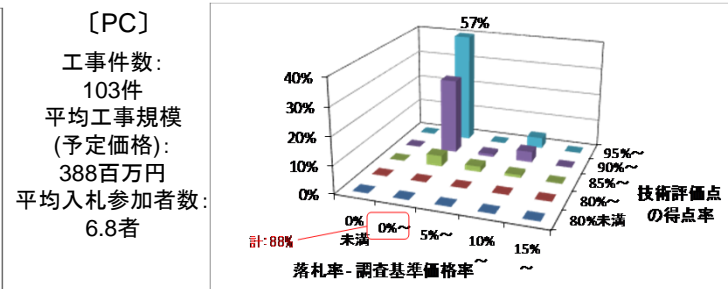
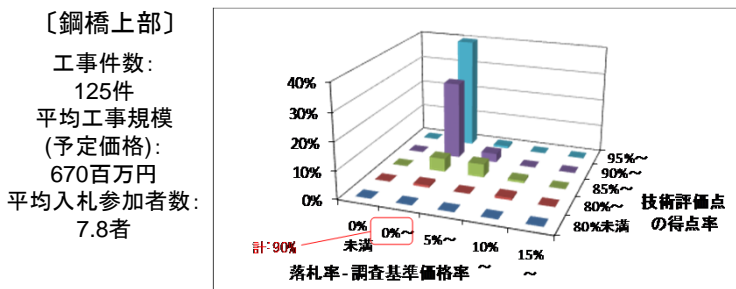
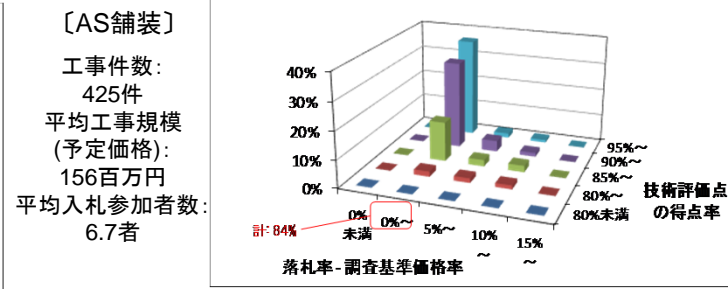
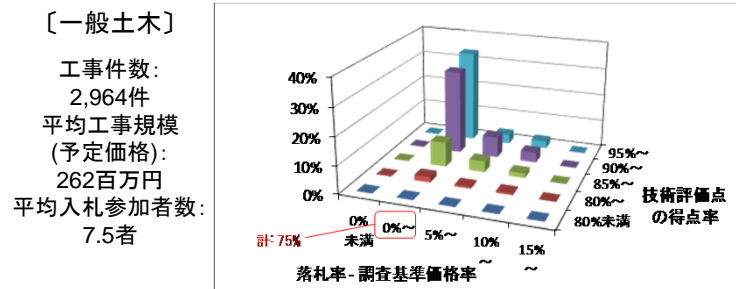
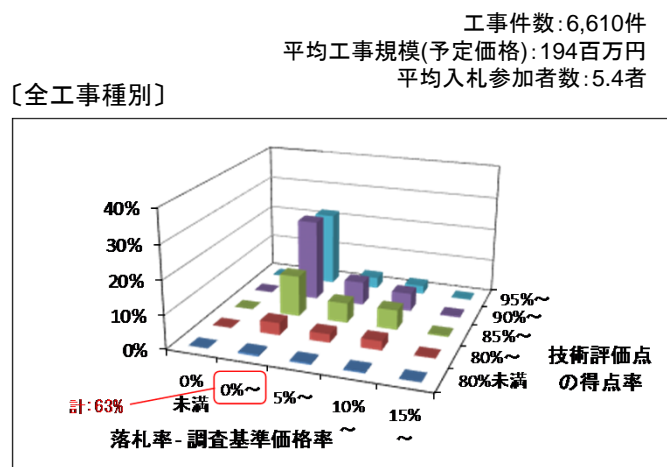
注2)価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
注3)平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
注4)平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成27年度)

(2) 落札者の「落札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」

① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「落札率-調査基準価格率」は、他の工事種別よりも0%以上5%未満に分布が集中する傾向にある。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・調査基準価格の設定されていない工事を除く。

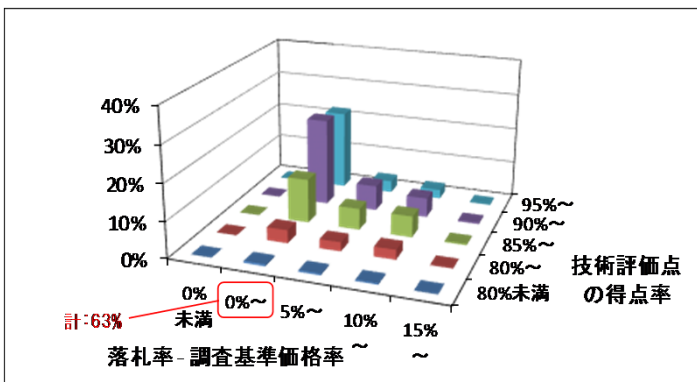
注2) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成27年度)

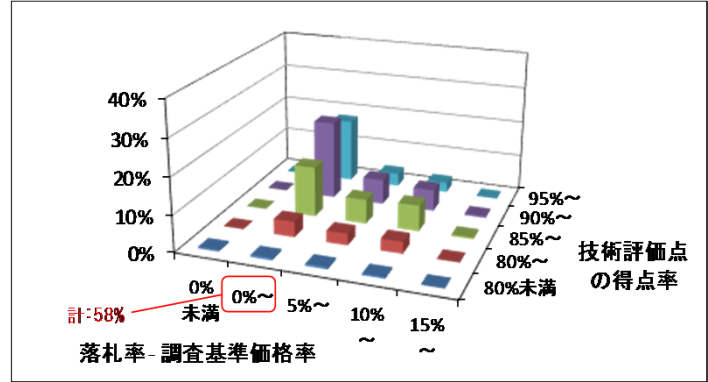
②総合評価のタイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)における「落札率-調査基準価格率」は、他のタイプよりも0%以上5%未満に分布が集中する傾向にある。更に、「技術評価点の得点率」は、高得点帯に分布が集中する傾向にある。

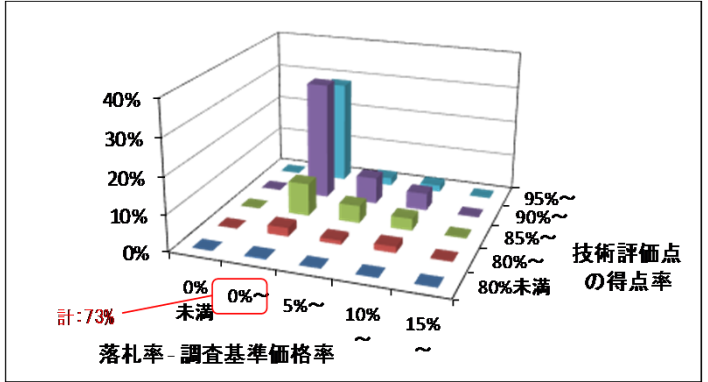
【全タイプ】
工事件数:6,610件
平均工事規模(予定価格):194百万円
平均入札参加者数:5.4者



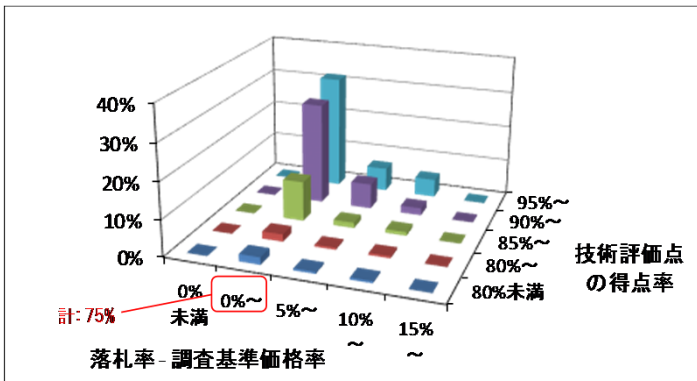
【施工能力評価型(Ⅱ型)】
工事件数:4,710件
平均工事規模(予定価格):122百万円
平均入札参加者数:4.8者



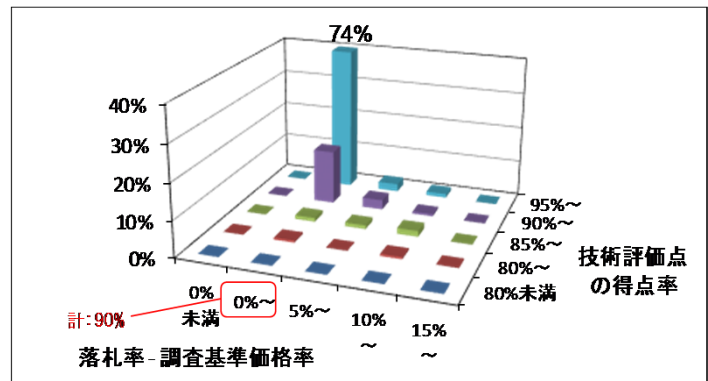
【施工能力評価型(Ⅰ型)】
工事件数:1,515件
平均工事規模(予定価格):173百万円
平均入札参加者数:6.4者



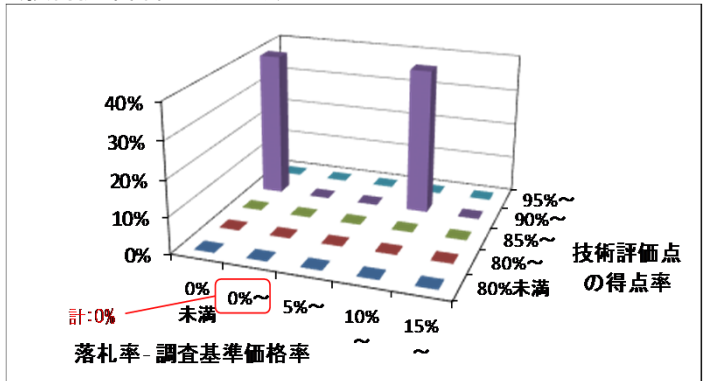
【技術提案評価型(S型)】
工事件数:196件
平均工事規模(予定価格):278百万円
平均入札参加者数:5.8者



【WTO技術提案評価型(S型)】
工事件数:187件
平均工事規模(予定価格):1,930百万円
平均入札参加者数:12者



【技術提案評価型(A型)】
工事件数:2件
平均工事規模(予定価格):15,451百万円
平均入札参加者数:1.5者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・調査基準価格の設定されていない工事を除く。

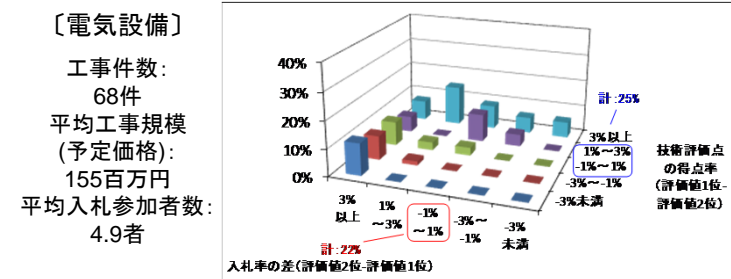
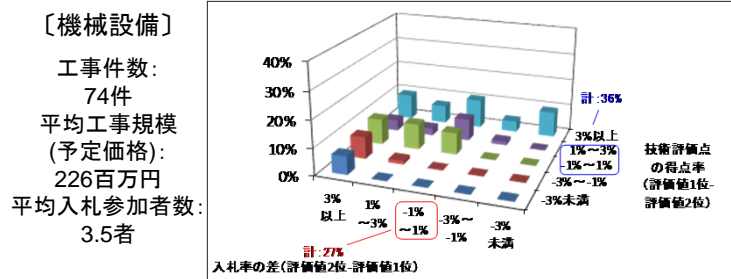
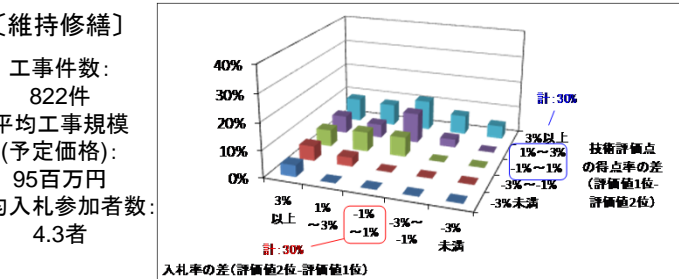
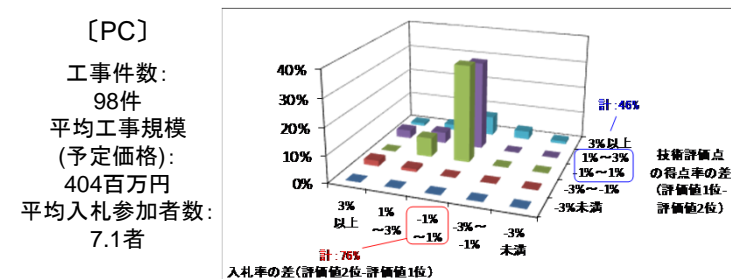
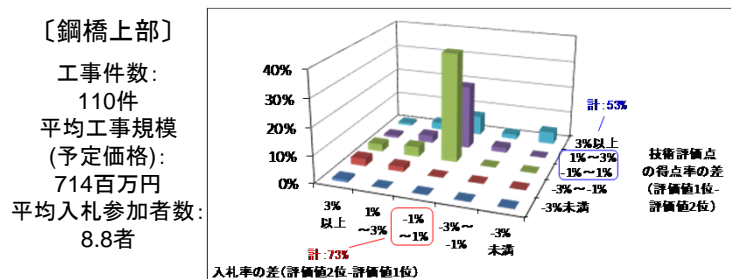
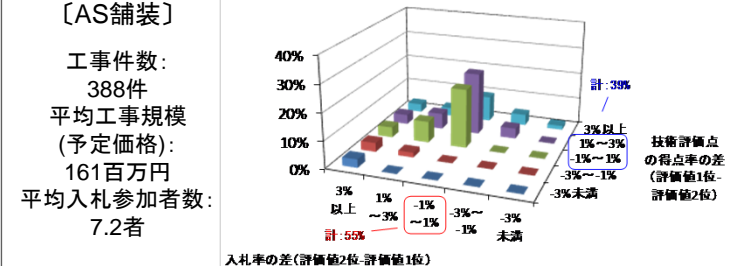
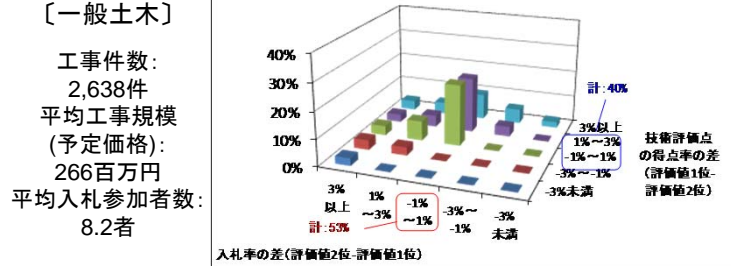
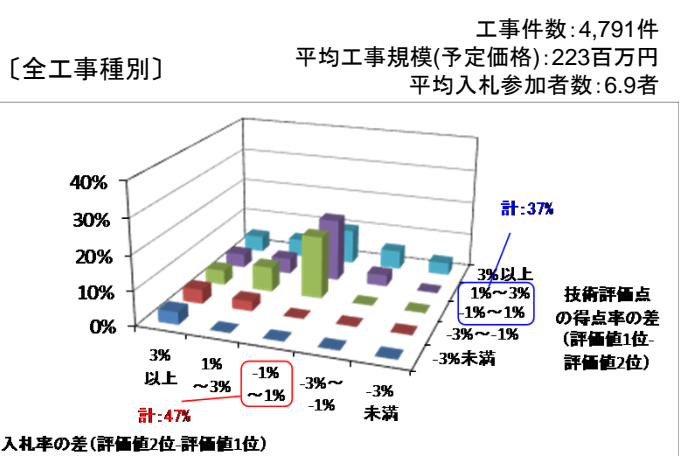
注2) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成27年度)

(3) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差

① 工事種別別

■ 鋼橋上部、PCにおける「入札率の差」は、±1%に集中する度合いが顕著である。また、「技術評価点の得点率の差」も-1%~3%に集中しており、価格と技術の両面で差が付きにくくなっている。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・予定価格内1者の案件

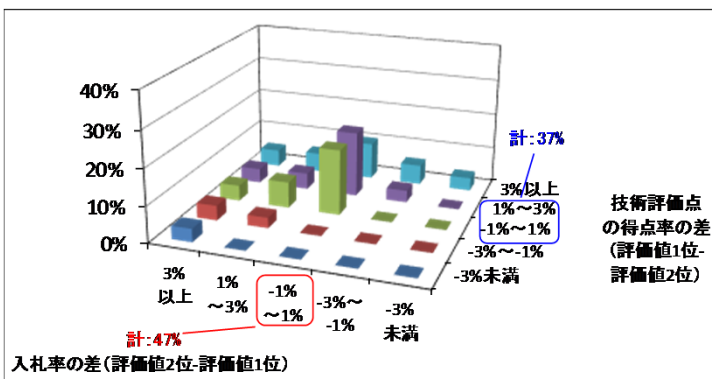
注2) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
 注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者数を含む。
 注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

5. 総合評価の結果と落札者の特徴(平成27年度)

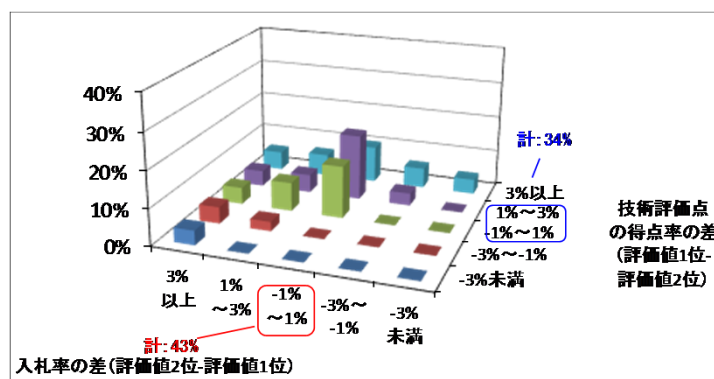
②総合評価のタイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)における「入札率の差」は、±1%に集中する度合いが顕著である。また、「技術評価点の得点率の差」も他のタイプよりも-1%~3%に集中しており、価格と技術の両面で差が付きにくくなっている。

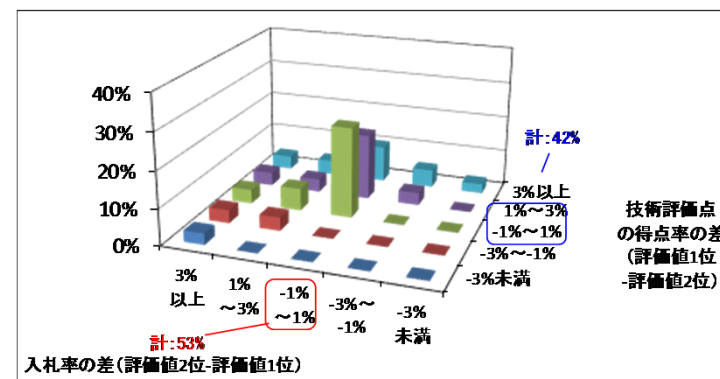
工事件数: 4,791件
平均工事規模(予定価格): 223百万円
平均入札参加者数: 6.9者
〔全タイプ〕



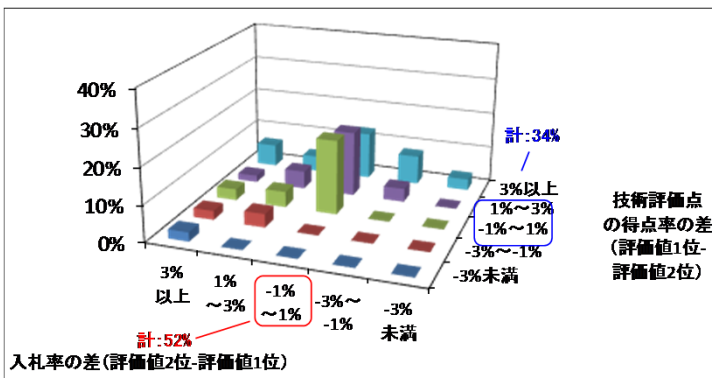
工事件数: 3,240件
平均工事規模(予定価格): 136百万円
平均入札参加者数: 6.4者
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕



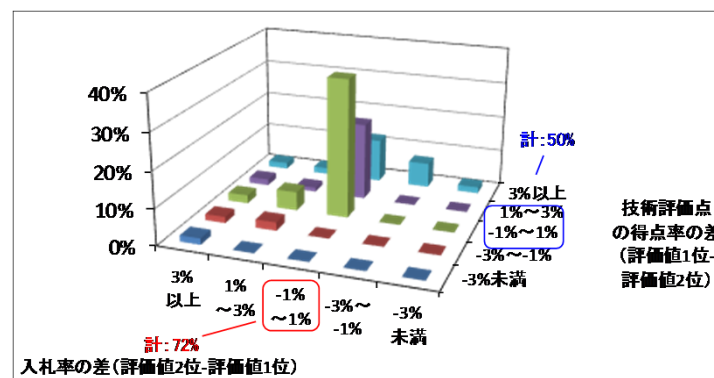
工事件数: 1,220件
平均工事規模(予定価格): 180百万円
平均入札参加者数: 7.5者
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕



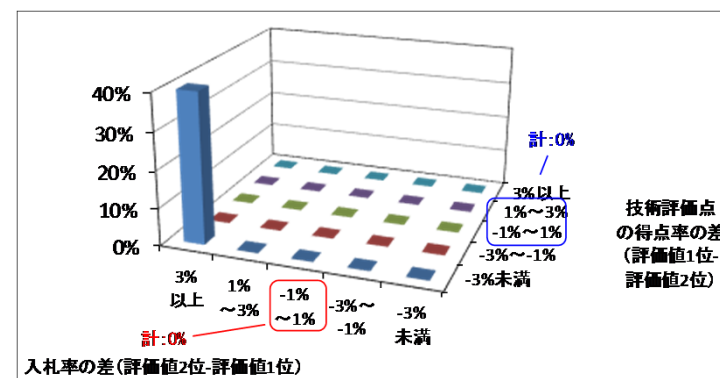
工事件数: 157件
平均工事規模(予定価格): 305百万円
平均入札参加者数: 6.9者
〔技術提案評価型(S型)〕



工事件数: 173件
平均工事規模(予定価格): 1,974百万円
平均入札参加者数: 12.8者
〔WTO技術提案評価型(S型)〕



工事件数: 1件
平均工事規模(予定価格): 18,426百万円
平均入札参加者数: 2.0者
〔技術提案評価型(A型)〕



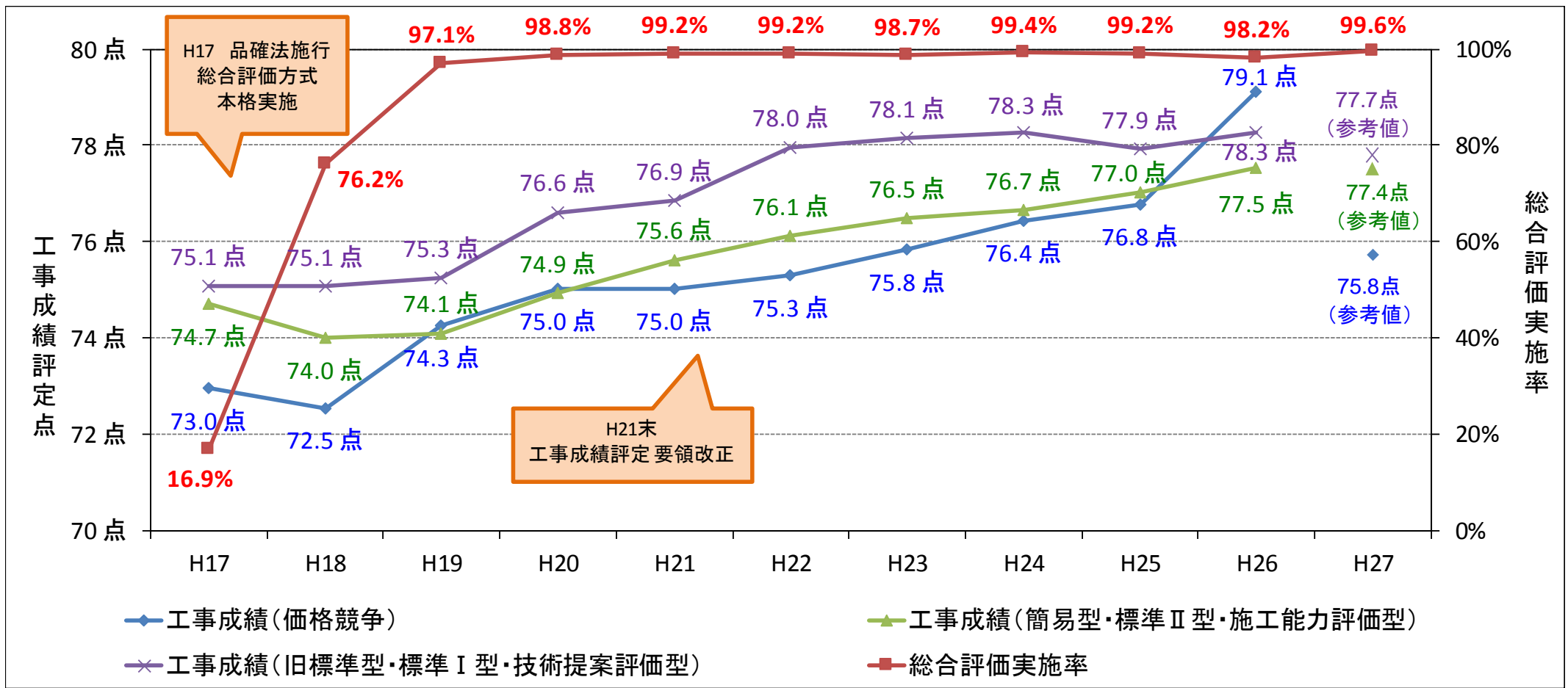
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争
・予定価格内1者の案件

注2) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者数を含む。
注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

6. 総合評価の導入と工事成績評定点

(1) 総合評価落札方式の実施率と工事成績評定点の変化

■ 「工事成績」は、価格競争よりも施工能力評価型、施工能力評価型よりも技術提案評価型が高い。



注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)
 注2) 価格競争を含む
 注3) 注1)、注2)を満たす工事のうち、工事成績データ(平成27年度完成分まで)と契約データのマッチングができたものを対象
 注4) 各年度の工事件数は契約年度別で整理
 注5) 平成26年度完成工事の価格競争には土砂災害の緊急復旧工事が含まれているため、工事成績評定点が高くなっている。

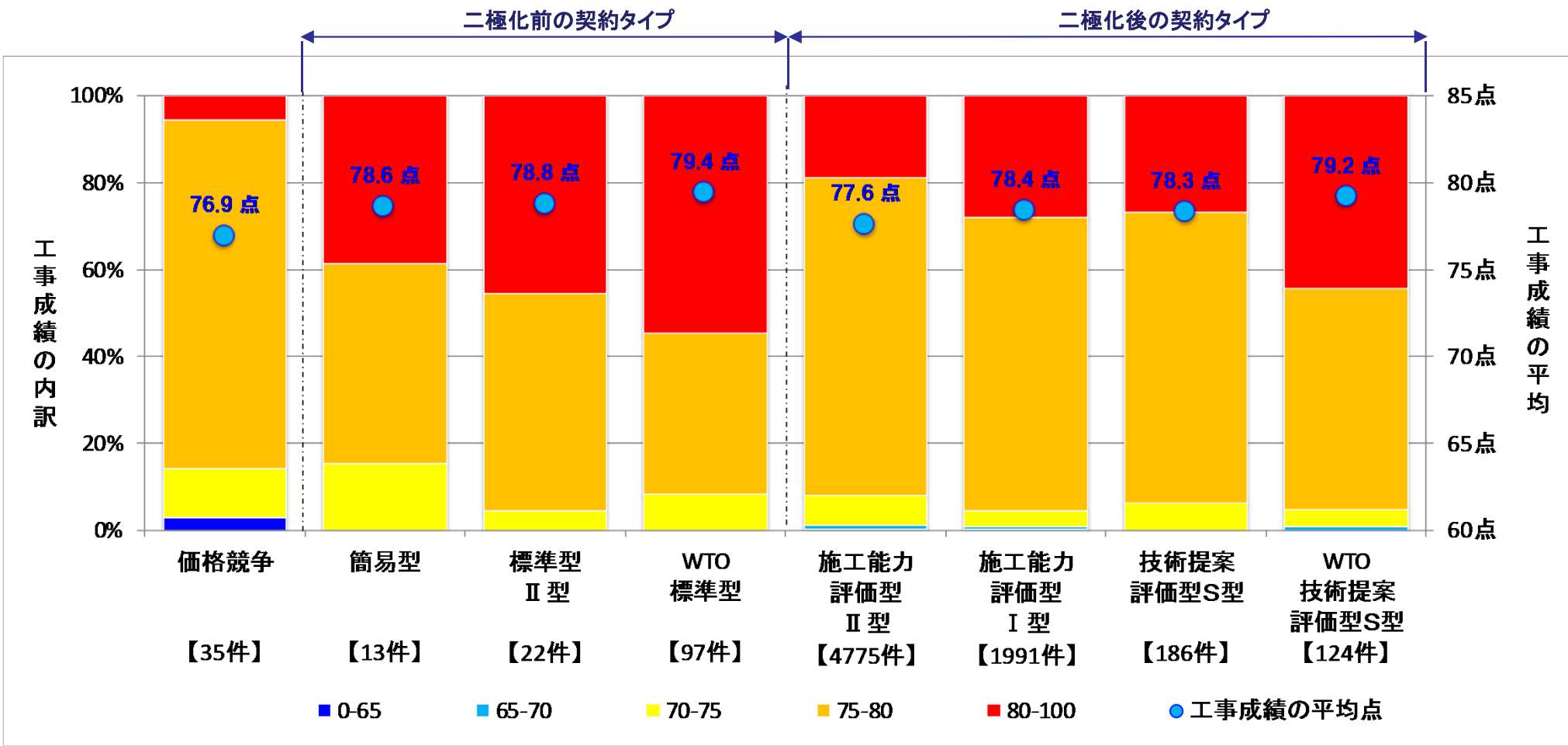
	H17件数	H18件数	H19件数	H20件数	H21件数	H22件数	H23件数	H24件数	H25件数	H26件数	H27件数
価格競争	7,088	2,385	2,054	827	223	193	76	34	50	72	8
総合評価(簡易型・標準Ⅱ型・施工能力評価型)	680	4,923	8,269	8,645	8,949	7,643	7,932	7,960	9,097	6,612	2,806
総合評価(旧標準型・標準Ⅰ型・技術提案評価型)	378	686	921	725	691	211	251	202	379	197	53

※平成27年度契約・完成工事が対象となるためサンプルが少ない(参考値)

6. 総合評価の導入と工事成績評定点

(2) 契約タイプと工事成績評定点

■ 上位タイプにおける「工事成績」は、工事成績80点以上の割合が多く、平均も高い傾向が見受けられる。

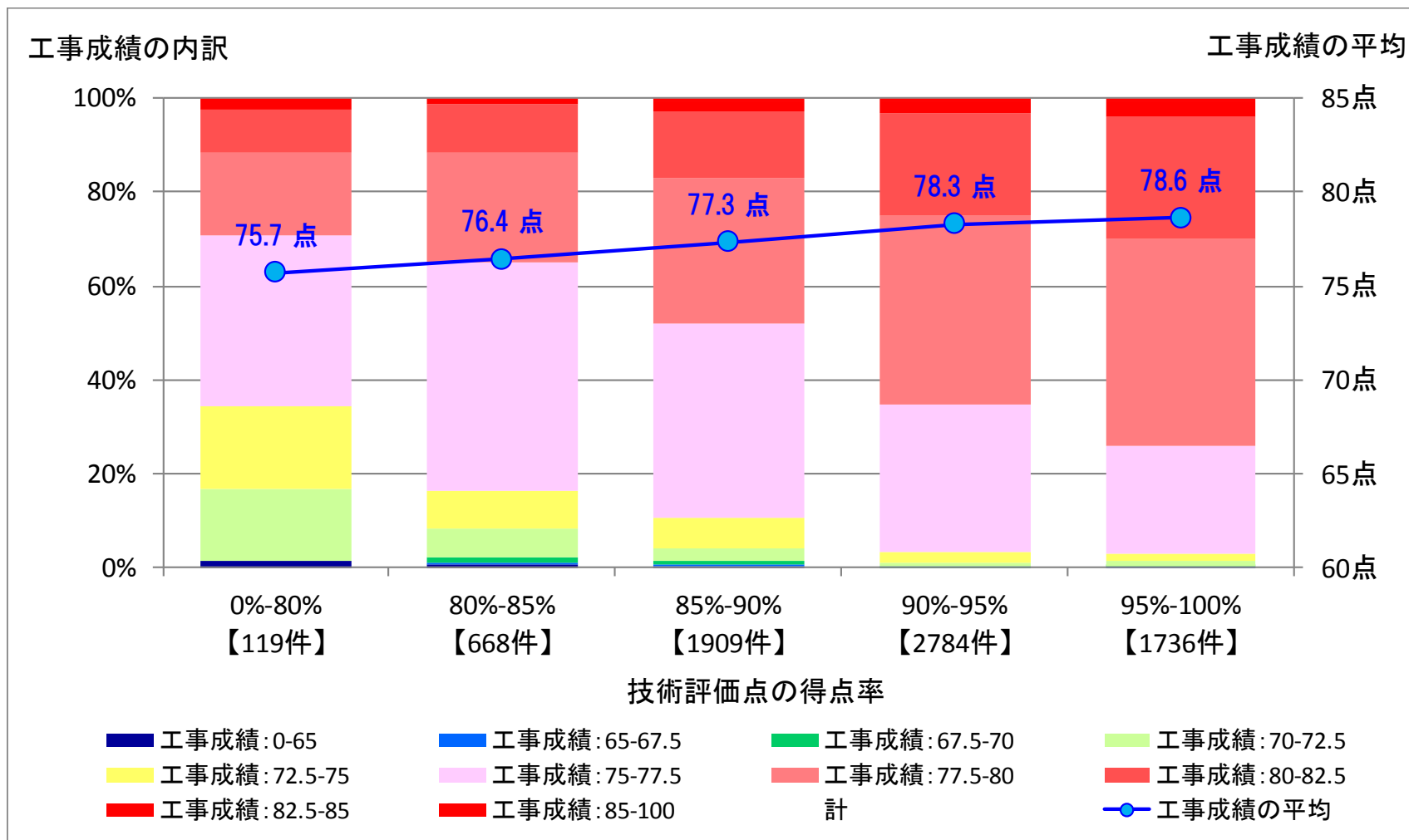


注1) 10地方整備局等の平成27年度完成工事を対象 (港湾・空港関係工事を除く)
 注2) 価格競争を含む
 注3) 注1)、注2)を満たす工事のうち、工事成績データと契約データのマッチングができたものを対象
 注4) 件数が10件未満の総合評価タイプ(標準型 I型、高度技術提案型)は除く

6. 総合評価の導入と工事成績評定点

(3) 工事成績評定点と技術評価点得点率

■ 「工事成績」は、技術評価点の得点率が高い工事ほど80点以上の高評点を得る割合が多く、工事成績の平均が高い傾向が見られる。



注1) 10地方整備局等の平成27年度完成工事を対象 (港湾・空港関係工事を除く)。
 注2) 価格競争を除く
 注3) 注1)、注2)を満たす工事のうち、工事成績データと契約データのマッチングができたものを対象